

(受資活 8 - 1)

議会棟 1 階バリアフリー改修工事

図面リスト

建築工事				電気設備工事			
A-01	建築改修工事特記仕様書 - 1			E-01	電気設備工事特記仕様書ー 1		
A-02	建築改修工事特記仕様書 - 2			E-02	電気設備工事特記仕様書ー 2		
A-03	建築改修工事特記仕様書 - 3			E-03	結線図・新設図 既存分電盤結線図		
A-04	付近見取図・配置図		1/2500、1/500	E-04	現況図・改修図 幹線・ｺﾝｾﾝﾄ設備 平面図 1/100		
A-05	現況図 - 1	1 階 平面図	1/200、1/100	E-05	現況図・改修図 電灯設備 改修図		1/100
A-06	現況図 - 2	平面詳細図・天井伏図	1/20	E-06	現況図・改修図 非常用設備 改修図		1/100
A-07	現況図 - 3	展開図	1/20	E-07	改修図 - 1 ｺﾝｾﾝﾄ配線図		1/20
A-08	改修図 - 1	平面詳細図・天井伏図	1/20	E-08	改修図ー 2 照明器具配線図		1/20
A-09	改修図 - 2	展開図	1/20				
A-10	改修図 - 3	衛生器具参考図	1/20	機械設備工事			
				M-01	機械設備工事特記仕様書ー 1		
				M-02	機械設備工事特記仕様書ー 2		
				M-03	現況図・改修図 給排水設備図		1/30

建築改修工事特記仕様書

【1】工事概要

1.工事場所宇治市宇治琵琶33

2.敷地面積㎡

3.建築物概要

	棟名	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
						○執務並行改修 ○全館無人改修
						○執務並行改修 ○全館無人改修
						○執務並行改修 ○全館無人改修

4.その他

【2】適用範囲

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（令和7年版）をいう。（以下、これを「改修標準」という。）
本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「改修標準」の適用を受けるものとする。

【3】工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】工事仕様

1.設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修標準」のほか別記の適用基準による。
2.項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
3.特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、○印の付いたものを適用する。
印と●印の付いた場合は、共に適用する。○印が抹消された場合は、●印のみ適用する。
4.項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「改修標準」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項目

特記事項

2

仮設工事

仮設間仕切り
(2.3.2)

●設ける（図示 中廊下部分）

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
○A種	●せっこうボード 種類○GB-R 厚さ●12.5mm○9.5mm	●なし ○片面	グラスウール ○24kg/㎡ ○厚さ○50mm
●B種	○合板 材質○7mm合板 厚さ○mm○9mm	○両面	
○C種	全面シート張り		

○設けない

工事用水

構内既存の施設○利用できない●利用できる（●有償○無償）

工事用電力

構内既存の施設○利用できない●利用できる（●有償○無償）

仮囲い等

●図示による○

3

防水改修工事

シーリング
(3.1.4)
(3.7.2)
～(3.7.8)

シーリング材の種類改修標仕表3.7.1による

改修工法の種別	施工箇所
●シーリング充填工法	建具廻り、ガラス、壁化板合板目地
○シーリング再充填工法	
○抵幅シーリング再充填工法	
○ブリッジ工法	

仕上げを行わない施工箇所（○図示による）○

目地寸法建具廻りの目地

幅15mm以上、深さ10mm以上○

ガラス回りの目地

幅5mm以上、深さ5mm以上○

化板合板目地

幅3mm以上、深さ3mm以上○

シーリングの試験簡易接着性試験（部位）
○引張接着性試験（部位）

5

建具改修工事

改修工法
(5.1.3)

既存建具を新規建具に改修する場合
○かぶせ工法（○カバー工法○持出し工法○ノンシール工法）
●撤去工法（●はつり工法○引き抜き工法）
新規に建具を設置する場合
新規建具を設ける壁の開口方法図示による○
新規建具周囲の補修工法及び範囲図示による○

鋼製軽量建具
(5.2.2)
(5.5.2)
～(5.5.4)

簡易気密型ドアセットの気密性適用する（A・3）○適用しない

○防音ドア、防音サッシとする場合（遮音性の等級）
○断熱ドア、断熱サッシとする場合（断熱性の等級）
○耐震ドアとする場合（面内変形追随性の等級）

鋼板表面処理亜鉛めっき鋼板○ビニル被覆鋼板
○カラー鋼板

鋼板類の厚さ表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く)
mm

召合せ、縦小口包み板の材質鋼板○
ステンレス製のくつずりの仕上げHL○

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法建具表による

参考品番：文化シャッター(株)カムスライダー同等品

建具用金物
(5.8.2)
～(5.8.4)

マスターキーの製作
○作成する（グループ、各グループ個）○作成しない

●在来マスターキーに合わせる

鍵の制作本数3本1組（室名札付き）○

鍵箱無○有

開き戸
(表5.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
○シリンダー箱錠	○握り玉：スズ ○レバー・ハンドル：7mm合金、 （○スズ、○黄銅）	○取付位置 （） 実用性能項目 グレード3以上 （鋼製建具、鋼製軽量 建具、スズ建具） ○ 耐じん性能のグレード ○
	シリンダー・キー：スズ	

章

項目

特記事項

5

建具改修工事

引戸
(表5.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
●引戸用錠		木製建具の場合 ：シリンダー・キー等はスズ ○取付位置 （）
クレセント	建具製作所の仕様による。	木製建具の場合：スズ （○黄銅）
引手類		
戸車 (上吊りの場合を除く)		
レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス、 （○7mm合金、○黄銅）	黄銅は木製建具用のみ

窓
(表5.8.1)

金物の種類	見え掛り部の材質	その他
クレセント・調整器・ヒンジ等	建具製作所の仕様による。	

金属製建具用丁番表5.8.2による○
樹脂製建具用丁番表5.8.3による○

ガラス
(5.14.2)
～(5.14.4)

材料
(表5.8.1)

種別	種類等	種別	種類等
○加工板ガラス		●強化ガラス	5mm
○型板ガラス		○熱線吸収板ガラス	
○網入板ガラス		○複層ガラス	
○線入板ガラス		○熱線反射ガラス	
○合わせガラス		○倍強度ガラス	
○		○	

ガラス溝の大きさ
(図5.14.1)

種別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代
○アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による
●鋼製建具			
○ステンレス建具	○	○	○
○	○	○	○

ガラス留め材
(5.14.2)

建具の種類	材質
アルミニウム製	シーリング材(SR-1)○グレイジングチャンネル
樹脂製	○グレイジングチャンネル
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材(SR-1)○パテ1種○2種
木製	パテ(木製用)

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。

章

項目

特記事項

6

内装改修工事

揮発性有機化合物対策
(6.5.2)～(6.5.4)
(6.8.2)(6.9.2)
(6.10.2)(6.11.2)
(6.11.4)(6.11.5)
(6.13.2)(6.14.2)
(6.16.4)(9.5.3)
(9.5.4)

タイル、断熱材の接着に使用する
接着剤のホルムアルデヒド放散量
F
○
木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量
F
○

他の部分との
取合い等
(6.1.3)

既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲
○壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う。
●図示による
○範囲()仕上げ()

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
○壁面より両側600mm程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う。
●図示による
○範囲()仕上げ()

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
○既存のまま
●図示による
○範囲()仕上げ()

既存床の撤去等
(6.2.2)

種別	工法	施工箇所
○ビニル床シート等	○下地材の除去	図示による ○
○合成樹脂塗床材	○機械的除去工法 ○目荒し工法	図示による ○
○フローリング張り床材		
●床タイル	●下地材の除去	図示による
○床組		

コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

軽量鉄骨天井下地
(6.6.2)
～(6.6.4)

野縁等の種類屋内19型○25型
屋外○19型25型
(表6.6.1)

野縁受け・つりボルト・インサートの間隔900mm
周辺部の端からの寸法150mm
野縁の間隔360mm
はすれ留め補強有り○無し
既存の埋込みインサートの使用再利用しない○再利用する
あと施工アンカーの引抜き試験○行う(箇所以上、N/箇所)
●行わない

開口補強
つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法図示による○

天井のふところの補強
(1.5m以上3m以下)改修標仕6.6.4(8)による○
(3mを超える)図示による○

天井下地材における耐震性を考慮した補強○行う○行わない
屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強○行う○行わない

軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)

スタッド、ランナ等の種類
表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類○
スタッドの高さが5mを超える場合
図示による○

ビニル床シート、
ビニル床タイル
及びゴム床タイル
張り(6.8.2)

区分	種別	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所
発泡層有	○単層ビニル床シート	T S	○2.5	無地	熱溶接	図示による
発泡層有	複層ビニル床シート	F S	2.0	○マーブル	○	
発泡層有	○発泡複層ビニル床シート	H S	○	○柄物	○	
発泡層有	○クッションフロア	K S				

備考

一級建築士事務所
株式会社NEO設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
議会棟1階バリアフリー化改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 - 1

縮尺
年月日
2026.01

図面 No
A - 01

章

項

目

6

内装改修工事

特

記

事

項

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
F
○

合板のホルムアルデヒド放散量
改修標仕6.13.2(2)の(a)～(d)のいずれか

接着剤のホルムアルデヒド放散量
F
○

表面への化粧張り等の加工
図示による
○

種別表6.13.1によるJIS規格品とする(表6.13.1)

種	類	規	格	、	厚	さ	(	mm	)	等
●	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃)	○	9.5(準不燃)						
●	化粧せっこうボード(GB-D)	○	杉板模様	○	12.5(不燃)					
	○	トラバーチン模様	●	9.5(不燃)						
		(軽鉄下地は専用のものとする)								
○	不燃積層せっこうボード(GB-NC)	○	トラバーチン模様	○	9.5(不燃)					
	○	模様なし								
○	シーリングせっこうボード(GB-S)	○	15(不燃)	○	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)				
○	強化せっこうボード(GB-F)	○	21(不燃)	○	15(不燃)	○	12.5(不燃)			
○	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25	○							
○	グラスウール吸音ボード(GW-B)	25	○							
○	吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)								
○	ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット	○	12(不燃)	9(不燃)				
			立体模様	○	15(不燃)	12(不燃)				
		軒天用	フラット	○	12(不燃)	9(不燃)				
			立体模様	○	15(不燃)	12(不燃)				
○	けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石綿)	○	8.0	○	6.0	○			
●	メラミン不燃化粧合板	●	3	アパ工業(株)アパメラミン化粧板化'カ(株)化'ボード'日本'コカス(株)A'ニート'同等品						
○	火山性ガラス質被覆板	○	研磨品(○3○6○9○9.5○__)							
		○	無研磨品(○3○6○9○9.5○__)							
○	普通合板	厚さ	接着の程度	表板樹種						
		板面の品質		防虫処理○行う						
○	天然木化粧合板	厚さ	接着の程度							
		化粧板樹種	○なら○しおじ	防虫処理○行う						
○	特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度	化粧加工の方法						
		表面性能	○F○FW○W○WS	防虫処理○行う						
○	その他下張り用合板									

合板類の張付け(表6.13.3)
●A種○B種

せっこうボードの目地処理(表6.13.5)
○縫目処理●突付け○目透かし

突付け工法及び目透し工法のエッジの種類(表6.13.5)
○ベベルエッジ○スクエアエッジ

天井廻り縁
材質○アルミニウム製●塩化ビニル製

セルフレベリング材塗り(6.17.2)～(6.17.3)

コーナークガード
くつずりステンレス巾木アルミエッジ

章

項

目

7

塗装改修工事

特

記

事

項

素地ごしらえ(7.3.2)～(7.3.7)

錆止め塗料塗り(7.4.2)(7.4.3)

塗装工程(7.5.2)～(7.13.2)

特

記

事

項

(表7.3.2)～(表7.3.7)

下地面等		種	別
木部	不透明塗料塗りの場合	A種	○B種
	透明塗料塗りの場合	○A種	B種
鉄鋼面(DP以外)		○A種	○B種C種
鉄鋼面(DP)		○A種	B種○C種
亜鉛めっき鋼面		○A種	○B種
鉄外面及びせっこうプラスター面(DP)		○A種	B種
コンクリート面(DP以外)及びALCA'板面		○A種	B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		○A種	○B種
コンクリート面(DPのみ)		○A種	B種
せっこうボード面及びその他のボード面	目地：継目処理工法	A種	○B種
	目地：継目処理工法以外	○A種	B種

錆止め塗料の種類

素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	備考
鉄鋼面	SOP	塗替え	○A種	C種○
	(工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	○A種	A種○
		新規見え隠れ	○A種	B種○
	EP-G	塗替え	○A種	B種C種○
	(工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	○A種	B種A種○
		新規見え隠れ	○A種	B種B種
亜鉛めっき鋼面	DP	塗替え	7.4.2(1)(イ)(a)による	○B種(下地調整RB種)○C種(下地調整RC種)
	(工程の種類は表7.4.4)	新規	7.4.2(1)(イ)(a)による	○A種
	SOP	塗替え	A種○B種	C種○
	(工程の種類は表7.4.5)	新鋼製建具等	A種○B種	A種○
	規	その他	B種○	B種○
	EP-G	塗替え	○C種○	C種○
鉄鋼面	(工程の種類は表7.4.5)	新鋼製建具等	○C種○	A種○
	規	その他	○C種○	B種○
	DP	塗替え	○B種○	-
	(工程の種類は表7.4.6)	新規	○B種○	-

工程の種類(表7.5.1)～(表7.13.1)

記	号	名	称	種	別
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部	新規外部	A種	○B種○C種
			新規内部	○A種	B種○C種
			塗替え	○A種	B種(外部の場合工程3,工程4は行わない)○C種
		鉄鋼面		○A種	B種○C種
			亜鉛めっき面		A種○B種○C種
			塗替え		A種○B種○C種
その他塗替え・新規		○A種	B種○C種		
	CL	クリヤッカー塗り	○A種(着色塗料の種類_____)	B種	

NADクリヤ樹脂系非水分散形塗料塗り

DPP耐候性塗料塗り

鉄鋼面

亜鉛めっき鋼面

コンクリート面及び押出成形セメント板面

上塗り

○1級

ふっ素樹脂系等

○2級

シリコン系等

○3級

ポリウレタン系等

EP-Gつや有合成樹脂調合ペイント塗り

コンクリート面,せっこうプラスター面,鉄外面,せっこうボード面,その他ボード面

木部

新規

塗替え

鉄鋼面

亜鉛めっき鋼面

○A種

B種

○C種

しみ止め

しみ止めシーター(B種及びC種の場合)

EP合成樹脂調合ペイント塗り

○A種

B種

○C種

しみ止め

しみ止めシーター(B種及びC種の場合)

UCクリヤ樹脂ワニス塗り

○A種

B種

スリイ塗り

○ビグメントスリイ塗り(表7.13.1)

○オールドスリイ塗り(OS)

WPM木材保護塗料塗り

○A種

B種

章

項

目

7

塗装改修工事

特

記

事

項

表示・標識(20.2.11)

③0天井点検口

③1点検タイル

特

記

事

項

衝突防止表示
図示による(市販品○ステンレス製径30mm○_____)
○なし
法令に基づく表示
非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。
室名札
厚さ(mm)材質色書体印刷等の種別取付け形式
○5○アクリル板○角太ゴシック○シルク印刷○平付型
○アルミ板○丸○持出型
外国語表現○行う(○英語○_____)
寸法(mm)○50×250○60×250○図示による
ピクトグラフ(便所、車いす、階段等)
厚さ(mm)材質印刷等の種別取付け形式備考
●5●アクリル板●シルク印刷○平付型身障者標示板
○アルミ板○●持出型
寸法(mm)●150×150サイン突出し型SK-19K-1T 神栄&-Aリイイト機同等品
案内板(館内、各階、便所)
厚さ(mm)材質色書体印刷等の種別取付け形式
○5○アクリル板○角太ゴシック○シルク印刷○平付型
○アルミ板○丸○持出型
外国語表現○行う(○英語○_____)
寸法(mm)○600×600○100×600○200×200○図示による
アルミニウム製450角目地タイプ
塩ビ製150角

章

項

目

7

塗装改修工事

特

記

事

項

塗料のホルムアルデヒド等の放散量
F
○

塗替えで下地調整の種類がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
劣化部分は除去し、活膜部分は残す
○図示○

(表7.2.1)～(表7.2.7)

素	地	種	別	備	考
木部	○	R A 種			
	不透明塗料塗りの場合は	R B 種			
	○	R C 種			
鉄鋼面	○	R A 種	R B 種		
	○	R C 種			
亜鉛めっき鋼面	○	R A 種	R B 種		
	○	R C 種			
モルタル及びせっこうプラスター面	○	R A 種	R B 種	ひび割れ部の補修	
	○	R C 種		○適用する○適用しない	
コンクリート面及びALCパネル面	○	R A 種	R B 種	ひび割れ部の補修	
	○	R C 種		○適用する○適用しない	
コンクリート面及び押出成形セメント面	○	R A 種	○R B 種	ひび割れ部の補修	
	○	R C 種		○適用する○適用しない	
せっこうボード及びその他ボード面	○	R A 種	R B 種		
	○	R C 種			

備

考

NEO

一級建築士事務所
株式会社 NEO 設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
議会棟1階バリアフリー改修工事

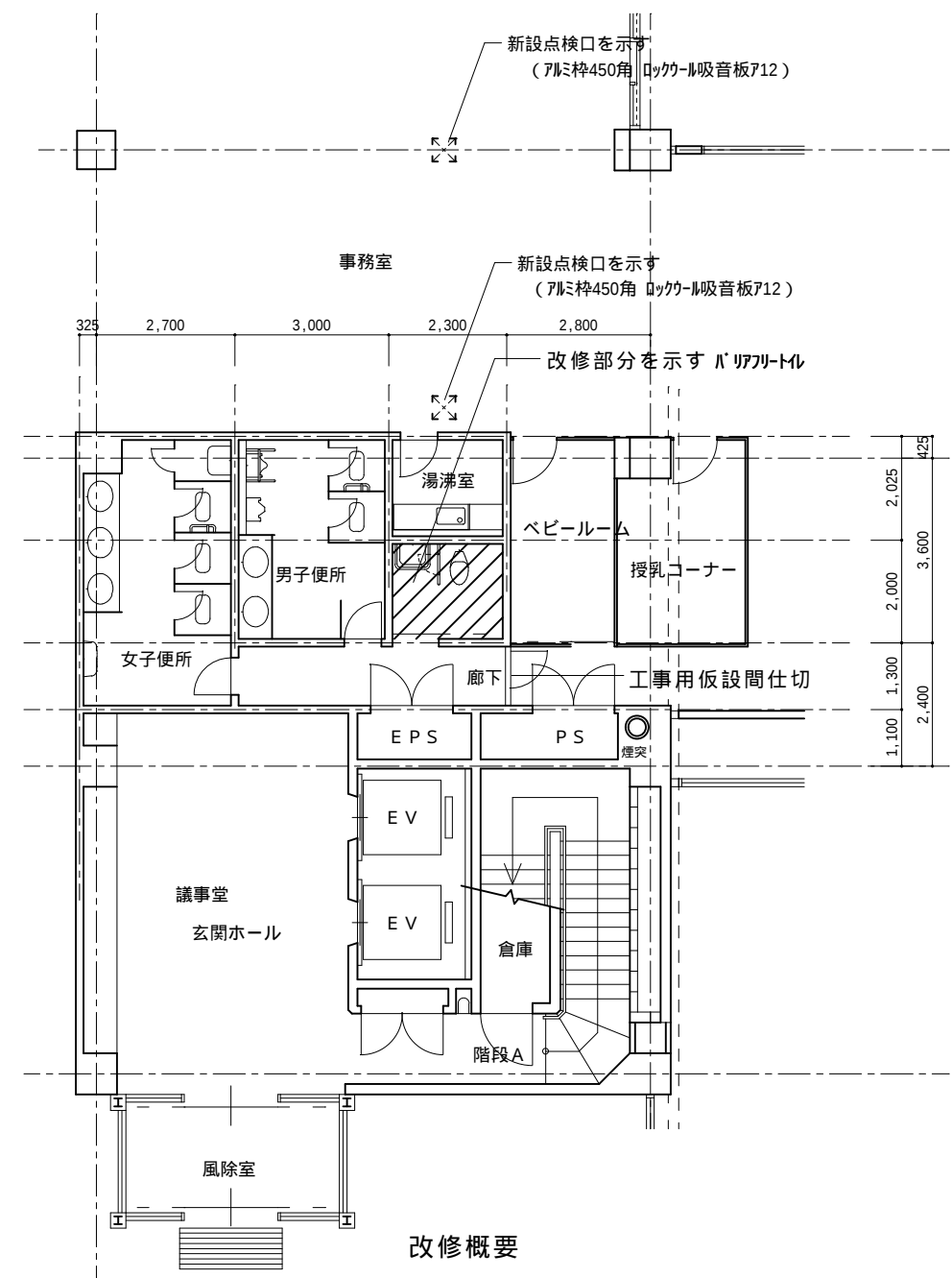
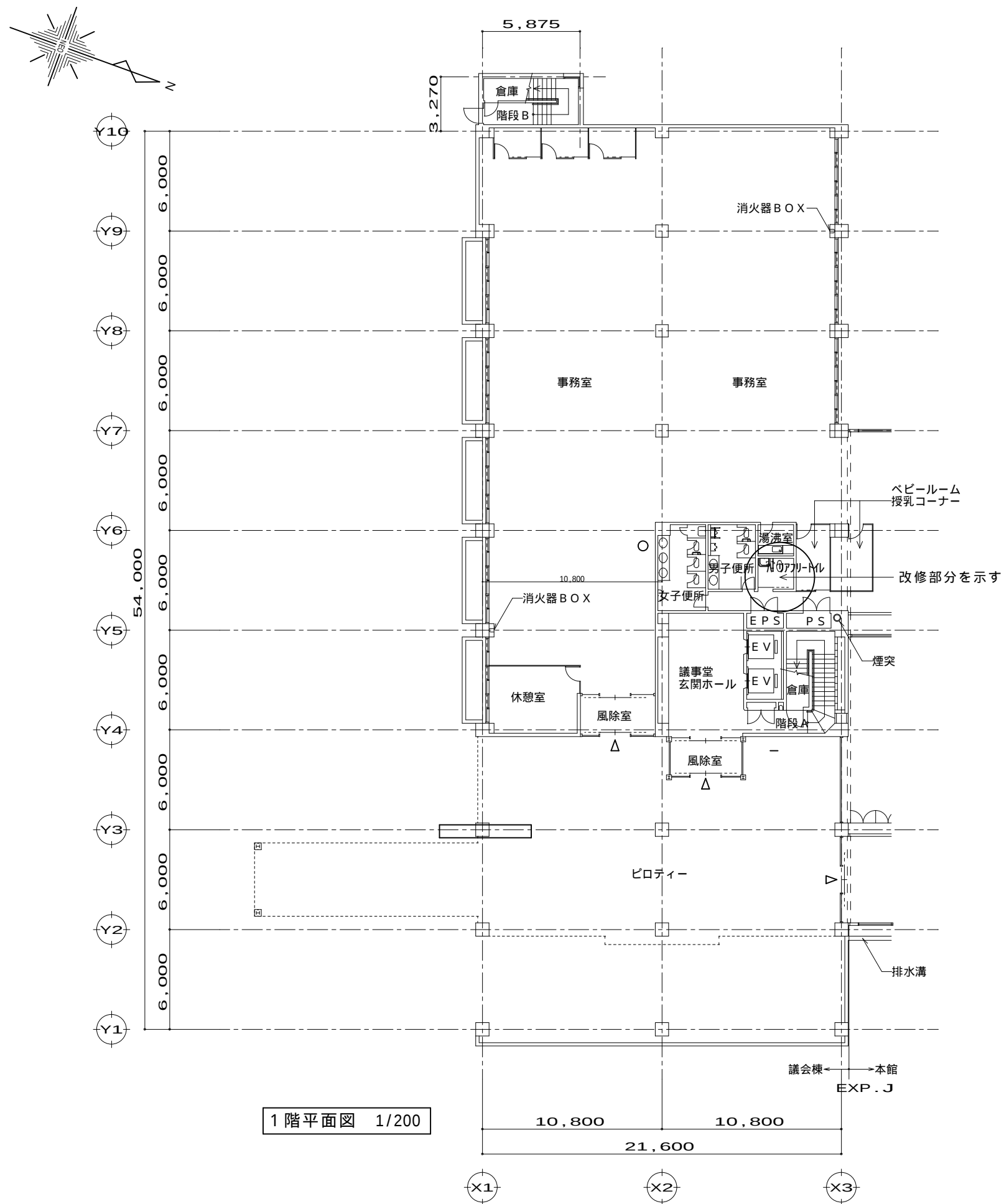
図面名称
建築改修工事特記仕様書 - 2

縮尺
年月日
2026.01

図面 No
A -02

[illegible][illegible]

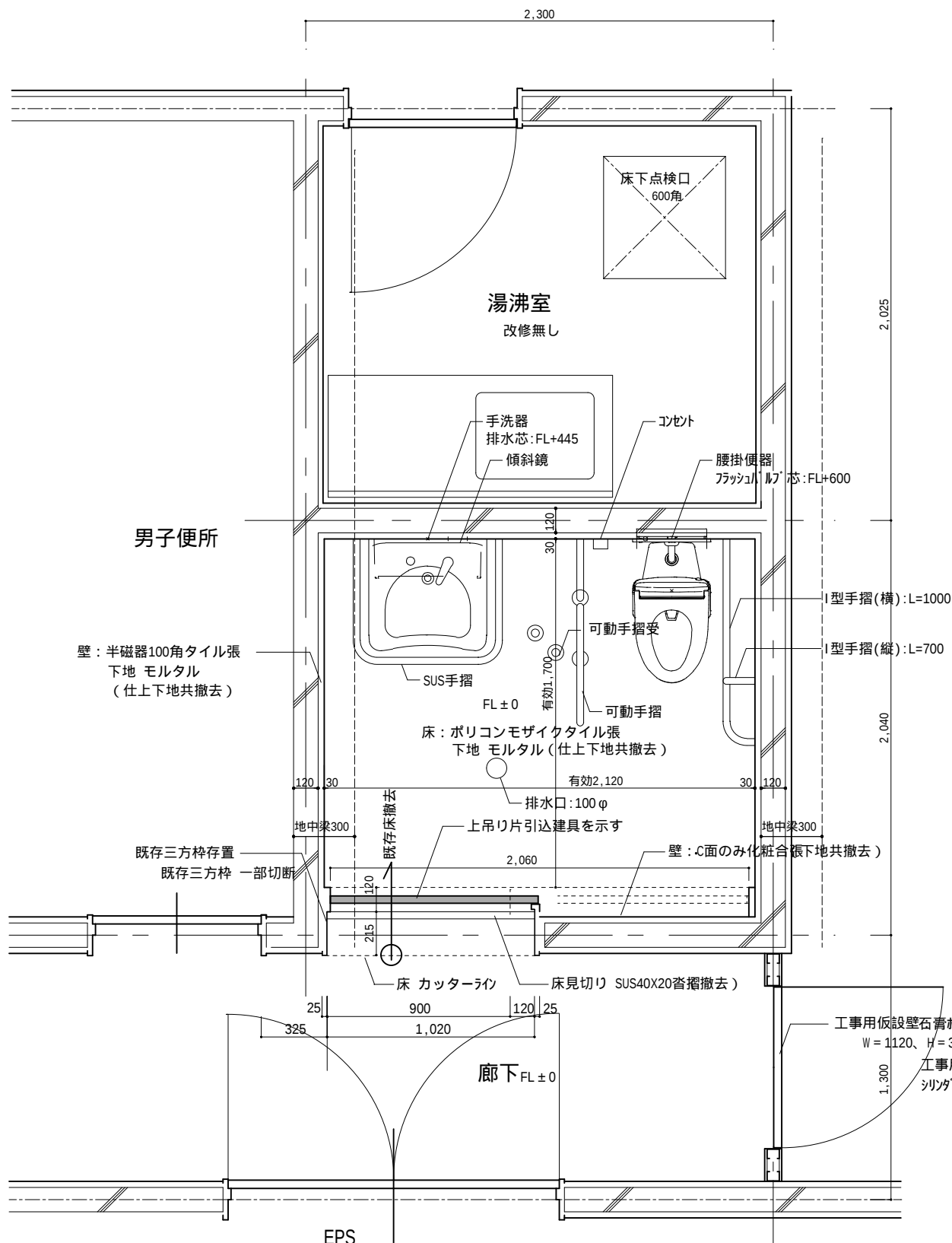
備 考					一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1 階バリアフリー化改修工事	図面名称	縮尺	図面 No
							建築改修工事特記仕様書 - 3	年月日 2026.01	A -03



改修概要

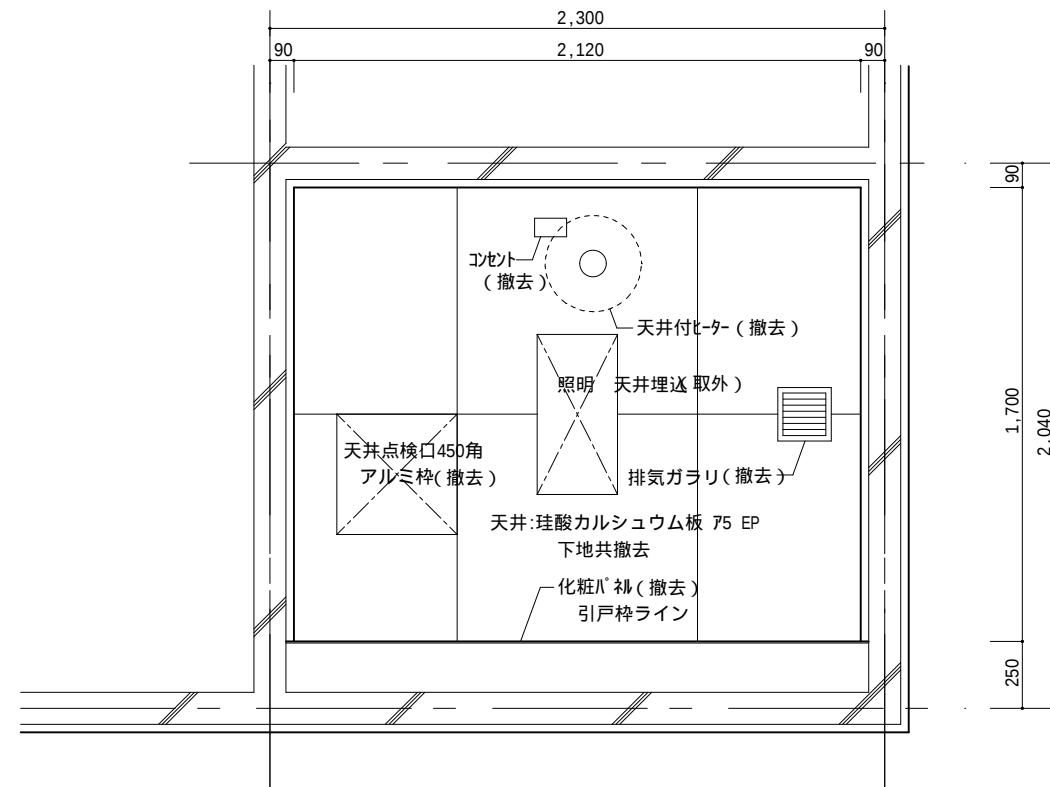
- 1 , ハ`リアリ-ト化全面改修(乾式化)
- 2 , 温水洗浄機化、木ｽﾏﾒｯﾄ設置
- 3 , 照明器具LED 取外し再取付
- 4 , その他
 - ・内装全て改修(乾式化、床排水なし)
 - ・出入口位置は固定
 - ・天井照明器具：現状LED変更済(脱着)
 - ・扉変更(基準法及び福祉まちづくり条例基準厳守)
 - ・下部に配管ﾋﾞｯﾄ有り、厨房に床下点検口有り
 - ・既存天井ｱｽﾍﾞｽﾄ含有(ｱｽﾍﾞｽﾄ対策工事必要)
 - ・天井点検口 ハ`リアリ-ﾄｲﾚ 以外に2箇所新設
ﾌﾙﾋﾞｰﾅ450角 ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板ｱ12
 - ・工事中 廊下に仮設扉を取付

備 考				一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1 階バリアフリートイレ改修工事	図面名称	現況図 - 1	縮尺 1/200、1/100	図面 No A - 05



平面詳細図 S=1/20

特記以外の設備機器は全て撤去する

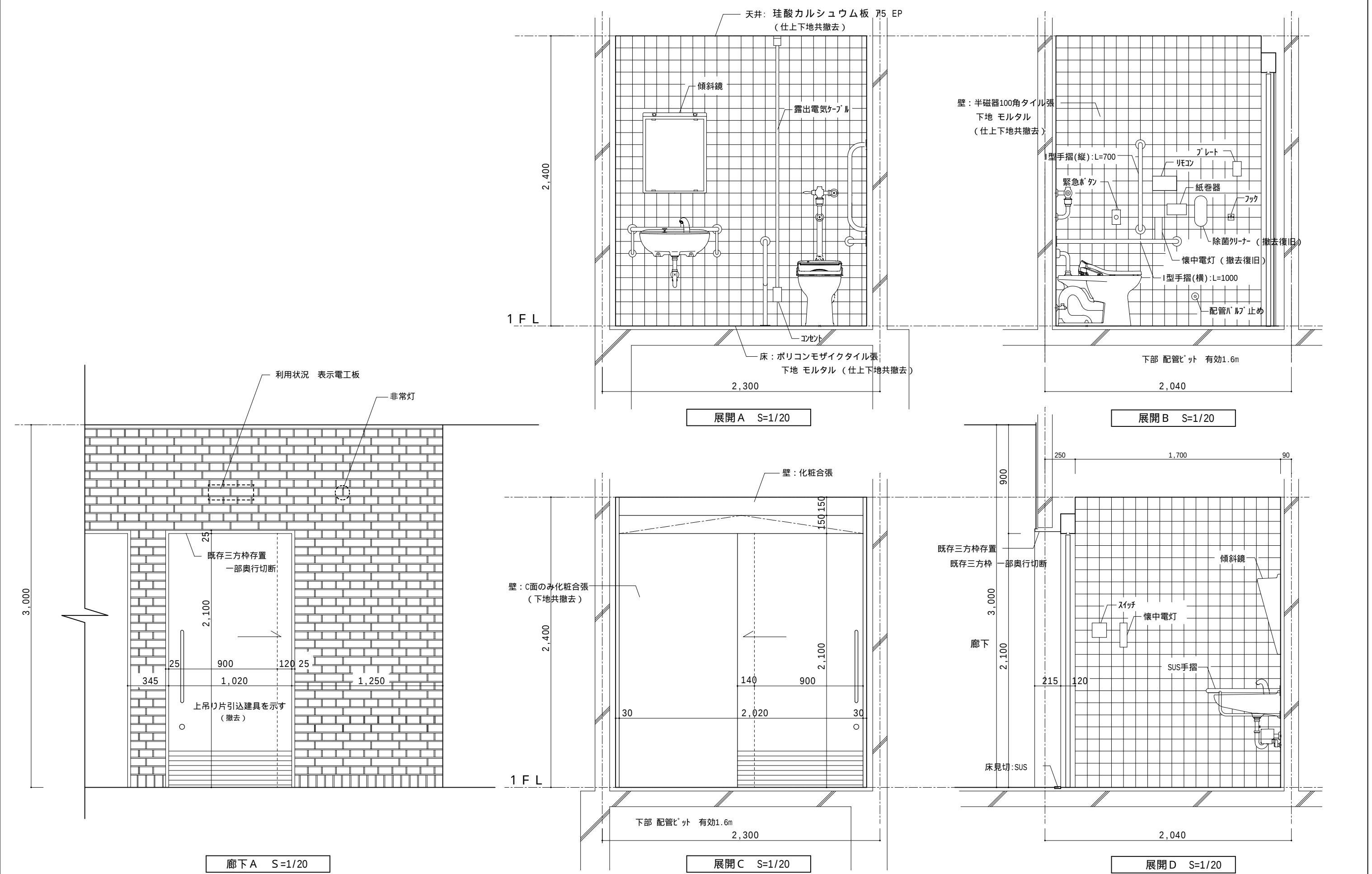


天井伏図 S=1/20

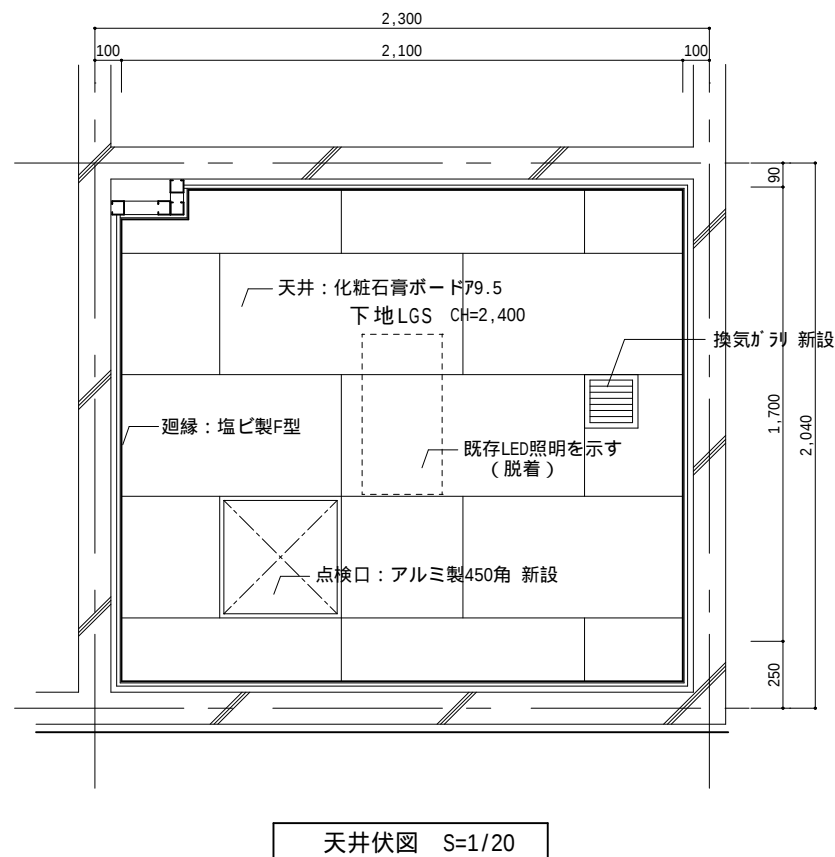
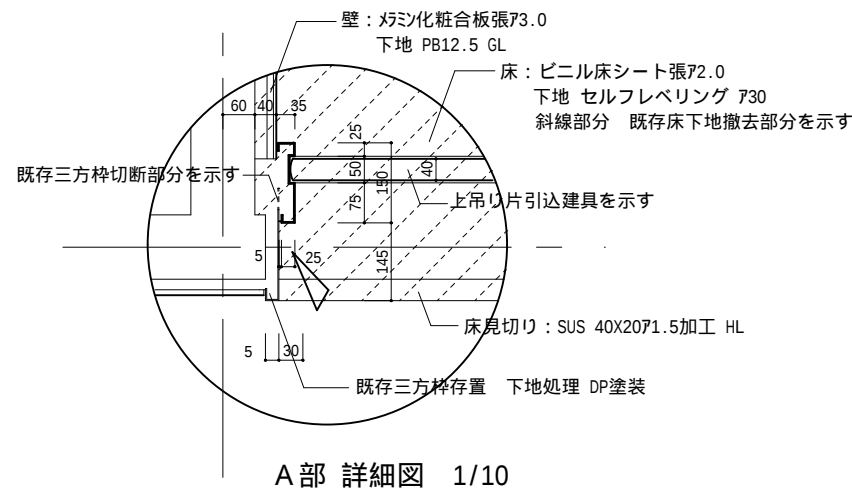
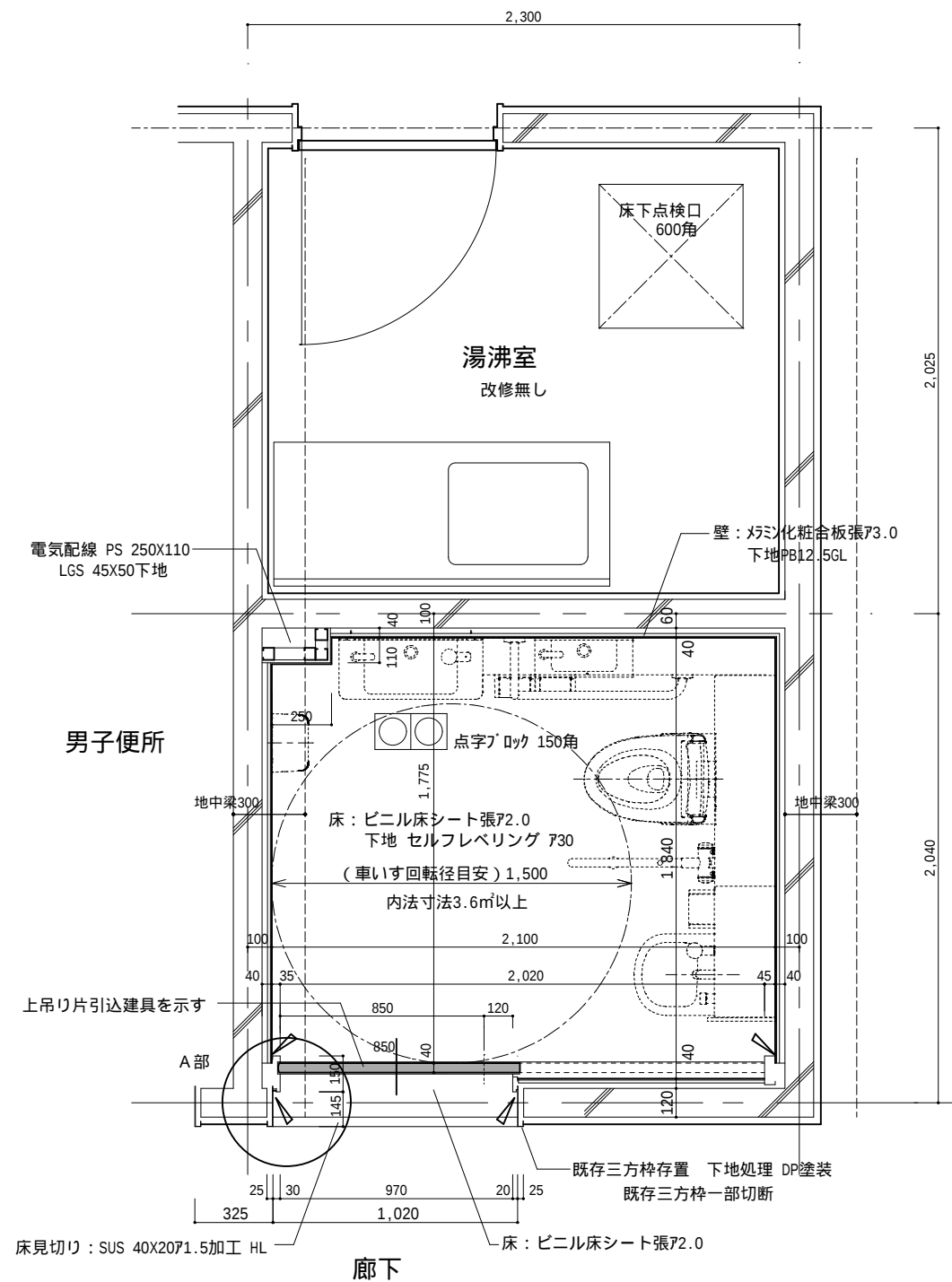
仕上表

床	ポリコンモザイクタイル張 (仕上下地共解体)	その他	設備機器解体 (天井照明 脱着)
	下地 モルタル塗		建具撤去 (廊下側三方枠 存置)
巾木	半磁器タイル張 役物 (仕上下地共解体)		アスベスト対策工事 (仕様書による)
壁	半磁器タイル張 (仕上下地共解体)		
	下地 モルタル下地		
天井	珪酸カルシウム板 75 EP (仕上解体)		
	下地 撤去新設 アスベスト含有		

備考					工事名称	図面名称	縮尺	図面 No
					議会棟 1 階バリアフリートイレ改修工事	現況図 - 2	1/20	
						平面詳細図・天井伏図	年月日 2026.01	A-06

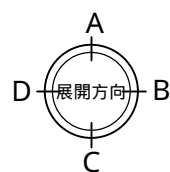


備 考				 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1 階バリアフリー改修工事	図面名称	現況図 - 3	縮尺	1/20	図面 No A -07	
							展開図	年月日 2026.01			



仕上表

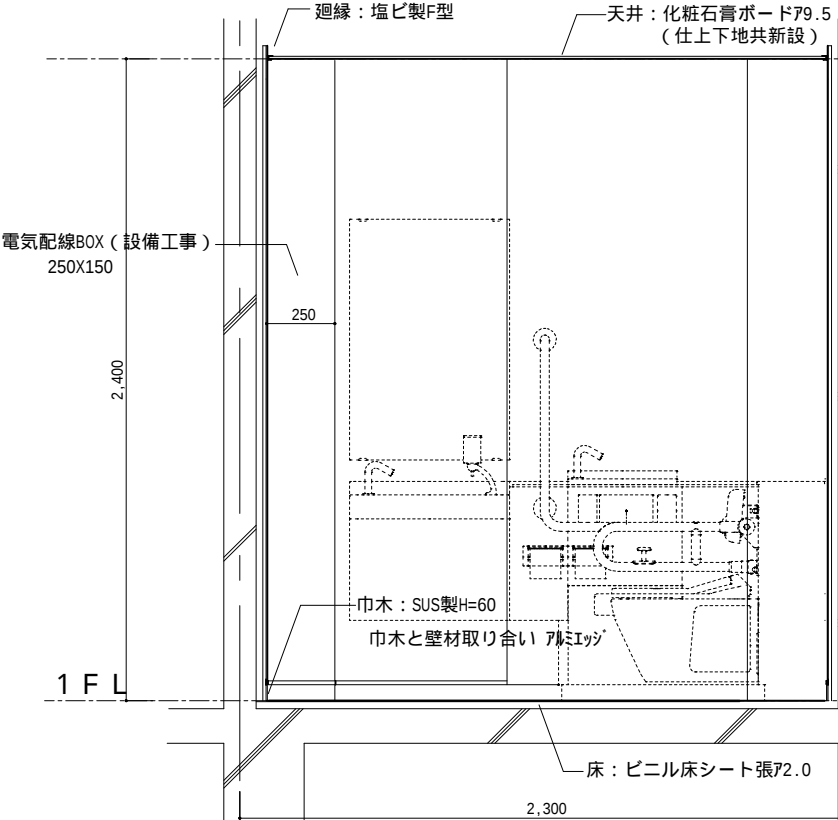
床	：ビニル床シート張72.0	その他：点検口：アルミ製450角
下地	セルフレベリング 730	点字ブロック：150角タイル
巾木	：SUS 72.0HL H=60 壁取り合いアルミエッジ 取付	標示板：ビクトリア150角
壁	：メラミン化粧合板張73.0（アイセーブル、同等品）	身障者マーク アクリル製75
下地	PB12.5 GL	SK-19K-1T（図入）
天井	：化粧石膏ボード79.5 不燃 廻り縁 塩ビ製	神栄ホームクリート 同等品
下地撤去新設		建具廻りコーキング



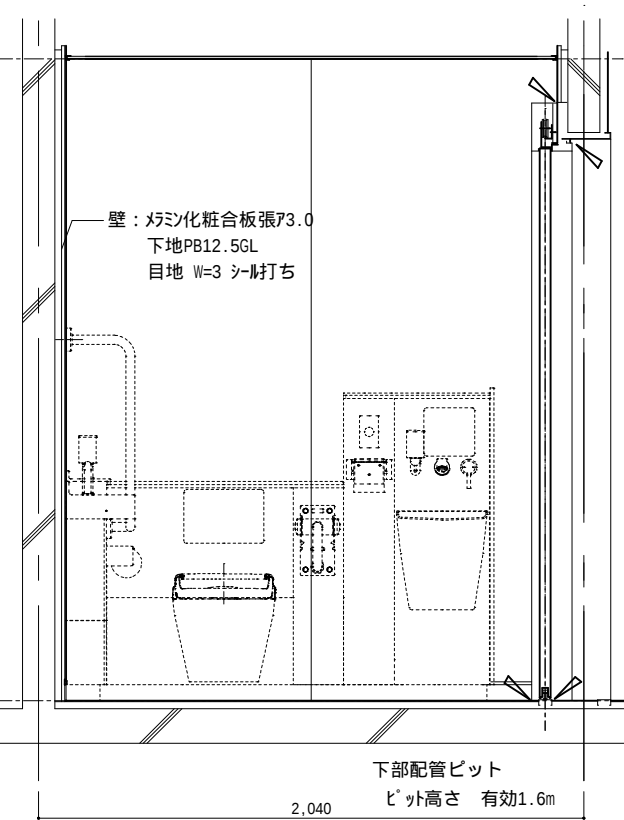
備考				工事名称	図面名称	縮尺	図面 No
				議会棟 1 階バリアフリー化改修工事	改修図 - 1	1/20	
					平面詳細図・天井伏図	年月日 2026.01	A-08

上吊り自動閉鎖装置付引戸 仕様

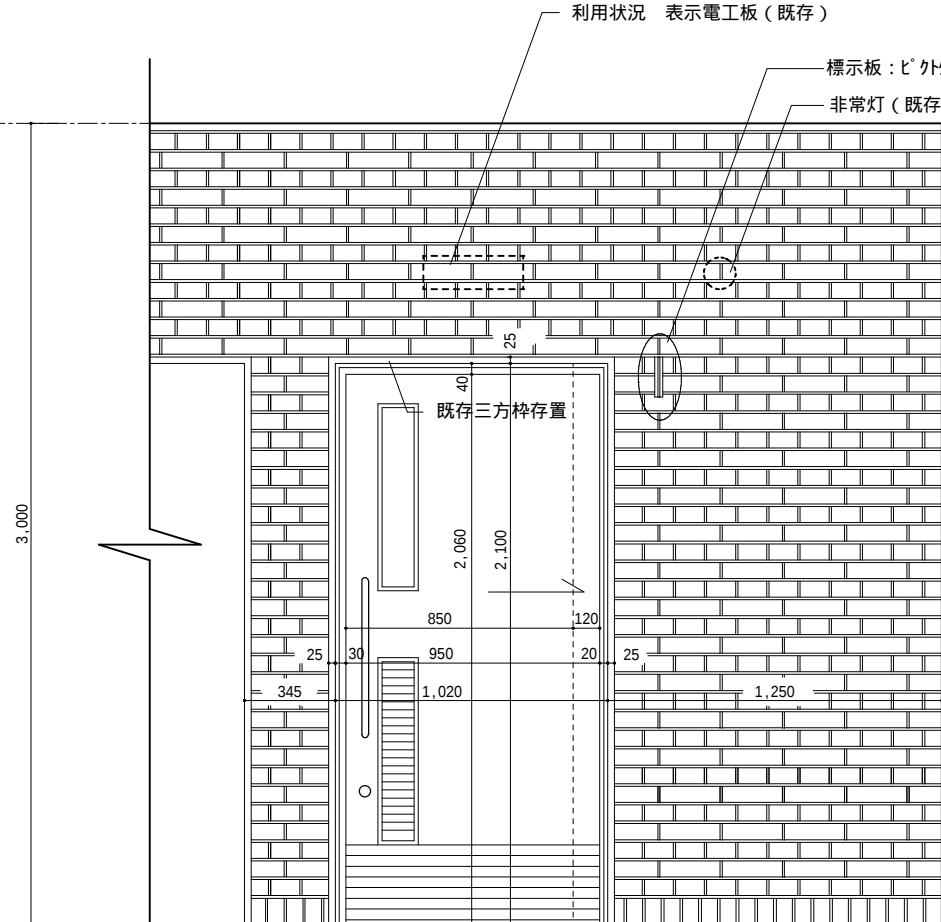
- 枠 : 鋼製φ1.6加工 DP塗装 (既存三方枠)
- 扉 : 化粧鋼板φ0.6 φ40 圧入構造
- 窓 : 強化型板硝子 φ4
- ガラス : 鋼製山形ガラス φ40
- 金物 : 表示錠、シリンダー、エンドストップ、
把手、SUS沓摺
- キックプレートSUSφ1.5 (両面)
- 製品名、製作所
- カムライダー : 文化シャッター
- LSドア・カムドア : 小松ウォール工業
- 同等品以上



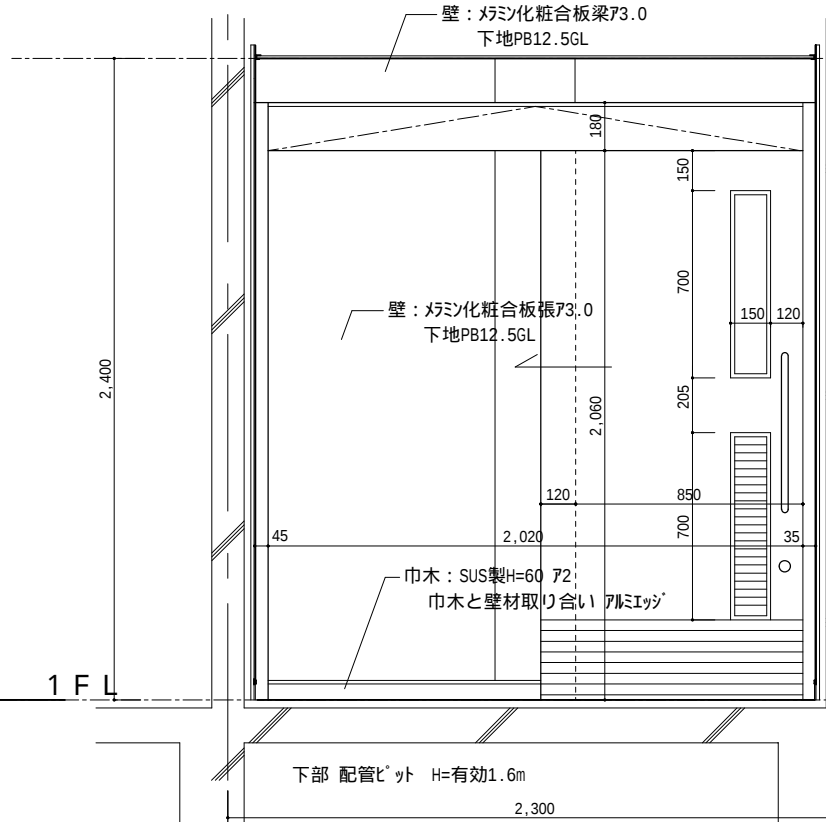
展開 A S=1/20



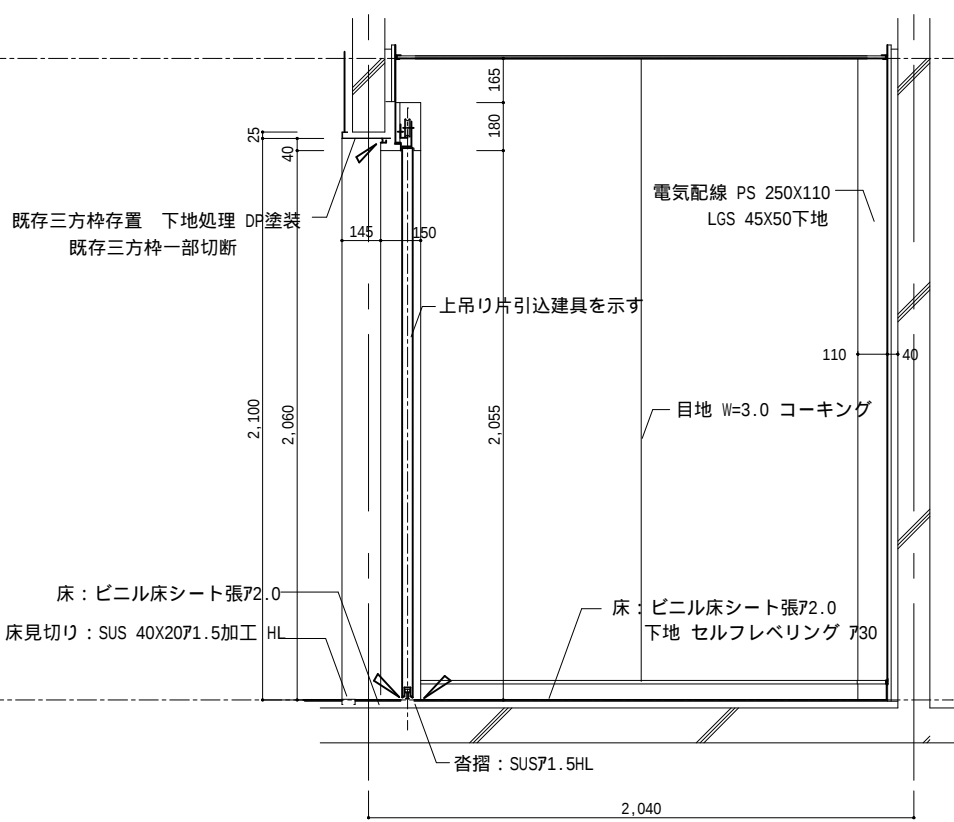
展開 B S=1/20



廊下 A S=1/20



展開 C S=1/20



展開 D S=1/20

TOTO器具参考プラン

Technical floor plan of a bathroom with dimensions in millimeters (mm). The plan shows a rectangular room with a toilet, two sinks, and a shower area. Dimensions include overall width (2,080 mm), overall depth (1,600 mm), and specific fixture dimensions like 1,500 mm for the shower area and 1,320 mm for the toilet area.

650 (手すり)

700

1 170



【工事概要】

1 工事場所宇治市宇治琵琶33番地

2 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延床面積 (㎡)	消防法令別表第一耐震安全性の分類	備 考
				○甲 ○乙	工事区分を記載
				○甲 ○乙	例：新営
				○甲 ○乙	全館無人改修
				○甲 ○乙	鉄骨並行改修

3 工事科目

工事科目	建物名称	バリアフリートイレ			
電灯設備	●	○	○	○	○
動力設備	○	○	○	○	○
雷保護設備	○	○	○	○	○
受変電設備	○	○	○	○	○
電力貯蔵設備	○	○	○	○	○
発電設備	○	○	○	○	○
構内情報通信網設備	○	○	○	○	○
構内交換設備	○	○	○	○	○
情報表示設備	○	○	○	○	○
映像・音響設備	○	○	○	○	○
拡声設備	○	○	○	○	○
誘導支援設備	●	○	○	○	○
テレビ共同受信設備	○	○	○	○	○
監視カメラ設備	○	○	○	○	○
駐車場管制設備	○	○	○	○	○
防犯・入退室管理設備	○	○	○	○	○
火災報知設備	○	○	○	○	○
中央監視制御設備	○	○	○	○	○
医療関係設備	○	○	○	○	○
構内配電線路	○	○	○	○	○
構内通信線路	○	○	○	○	○
電波障害調査	○	○	○	○	○
撤去工事	●	○	○	○	○

【特記事項】

1 一般事項

1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和7年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和7年版」による。

2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、○印を適用する。

章	項 目	特 記 事 項					
一 般 事 項	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。					
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿（最新版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2（2）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。					
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。					
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。					
	工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。					
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。					
	工事用仮設物	構内に置くことが出来る○できない					
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。					
	監督職員事務所	設置しない○設置する（○本工事○別途）					
	監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・電気設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)					
一 般 事 項	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	●建設副産物の処理 ○引き渡しを要するもの【 】 右記のほか、 ○再生資源利用を図るもの【 】 現場説明書による。 ○特別管理産業廃棄物 ○PCB使用機器 ○SF6ガス使用機器 ●蛍光灯 ○建設発生土処分 右記のほか、 現場説明書による。 ○構外指定地に搬出処理（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○構内指示場所に敷き均し					
	再生資源利用（促進）計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。					
	1) 「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2) 関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。						
	○アスベスト成形板の処理等（以下のほか、現場説明書による） 施工調査 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事故の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲 成形板の製造年等の確認 ○X線解析法 処理方法 非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。						
	共 通 事 項	○風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 V ₀ (○3.0 ○3.2 ○3.4) 地表面粗度区分(○ ○ ○ ○)				
		○風圧力（耐風力）	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 ○受雷部システム及び引下導線システム ○太陽光アレイ及び接続箱 ○風力発電装置 ○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト				
		●電線類	1) 特記なきものは、E-M・I-Eとする。 2) E-M電線、E-Mケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハログエン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 <table><tr><td>E-M・アクセスフロア</td><td>JCS45022(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・E-E)及び600Vアクセスフロア用架構ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・C-E)を示す。</td></tr><tr><td>E-M・MEES</td><td>JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるE-Mケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの</td></tr></table>	E-M・アクセスフロア	JCS45022(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・E-E)及び600Vアクセスフロア用架構ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・C-E)を示す。	E-M・MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるE-Mケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
		E-M・アクセスフロア	JCS45022(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・E-E)及び600Vアクセスフロア用架構ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル(E-M・C-E)を示す。				
		E-M・MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるE-Mケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの				
		●電線管	電 線 管 ●P-F管 ただし、露出部分は銅製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(銅製電線管 ○P-F管)とする。 ●ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の高い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚銅電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を越える外径の配管及び(P-F22)又は(E25)相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。				
●電線本数、管路等		下記の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。 ○屋外(○屋上を除く) ○屋内居室 ●屋内機械室・電気室 ●廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。					
●ボックス		樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。					
○予備配管		分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで上上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(51)を1本以上上上げる。					
●フラッシュプレート		和 室 ○樹脂製 ●金属製(○新金属製 ○ステンレス製) その他 ○樹脂製 ●金属製(○新金属製 ○ステンレス製)					
○床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。（図面特記のあるものを除く。） 二重床 インナー形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 二重床以外 飛び出し形 ○引出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 （フロアベースは水平高低調整式（空転防止リング付） 砲金製 ○アルミ製とする。）						
●機器	寸 法 盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接 続 電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等 (○溶融亜鉛メッキ ●SUS) その他 ●SUS ○						

○あと施工アンカー

●機器内配線等

●はつり

●再使用機器

●その他

施工後確認試験
○行う ○行わない
試験方法
引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年度版）「8.12.7 施工確認試験」による。
確認強度
監督職員との協議による。

下記の機器内配線及びケーブルには、E-M電線及びE-Mケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。
●分電盤 ○OA盤 ○実験盤 ○開閉器箱 ○制御盤
●キュービクル式配電盤 ○直流電源装置
○交流無停電電源装置(UPS)（簡易型を除く）

1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。
2) 復旧はモルタル補修までとする。

取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。

屋内外の盤類、開閉器箱 ○SUS ○銅板製
屋内外のブルボックス ○SUS ○銅板製

●工事範囲

●電気方式

●照明制御による効果の評価

○照明制御装置

○多重伝送制御システム

○LED制御装置の種類

○R-P又はM-P形照明器具

○非常用照明の形式

○フロアコンセント

●分電盤等

○照明用ポール

●一般照明の照度測定

○配管 ○配線 ●機器取付

幹線 ●単相3線式 100V/200V ○直流2線式 100V
分岐 ●単相2線式 ●100V ○200V
○直流2線式 100V

一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。

照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。

多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。

図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はLZ、それ以外はLN又はLJとする。

標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。

○電池内蔵形 ○電池別置形

○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用

1) 本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC 8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書J「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1極サイズのものとする。
2) SPD分離器（配線用遮断機）は(○警報接点付 ○警報接点無)とする。
3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。
OA盤の端子盤部に ○通気口 ○冷却ファン を設ける

○開閉器を設ける(○配線用遮断器・カットアウトスイッチ) ○開閉器を設けない
実施 ●する ○しない

○配管 ○配線 ○機器取付

○電気方式

○制御盤

○監視方法

○インターロック

○インバータ装置の規約効率

電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
インバータ効率(%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5
電動機出力(kW) 15 18.5 22 30 37 45 55 75
インバータ効率(%) 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
備考 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。
2) インバータ効率は、1.00%負荷時の値とする。

○工事範囲

○配管 ○配線 ○機器取付

○保護レベル

○受雷部システム

○接地システム

○工事範囲

○電気方式

○配電盤形式

○変圧器の規格〔グ〕

○監視方式

○基礎

○付属品等

○その他

○鋼製 ○ステンレス製

○開放形配電盤 ○コンデンサ盤 ○系統連系保護制御盤
○屋内キュービクル式配電盤 ○屋外キュービクル式配電盤
○変圧器 ○高圧スイッチギア(○C-X形 ○C-W形 ○P-W形)
○低圧スイッチギア(○C-X形 ○C-S形 ○C-W形 ○F-W形)

1) 変圧器(スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。
2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。

○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視
○本工事 ○別途工事 ○既設

盤内に予備降流ヒューズを収納する。

○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板形状で埋込形とする。
○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。
○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1,800mm以上）
○盤内照明器具はLEDとする。
○換気扇を設ける場合は回転センサー付とする。（盤面警報ランプ共）

備 考

図面名称

電気設備工事特記仕様書－1

縮尺

年月日
2026.01

図面 No

E -01

中村

NEO

一級建築士事務所
株式会社 NEO 設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称

議会棟 1階バリアフリー化改修工事

章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置（直流不足電圧継電器）の設定電圧は、90Vとする。
	○交流無停電電源装置（UPS）	用途（ 方式 ○一般形 ○簡易形
発電機	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル
	○連続運転可能時間	○10時間（乙） ○72時間（甲） ○
	○発電機	電気方式 三相3線式 電圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	○原動機	種別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション 定格出力 kW（PS）以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環環式 現地食料試験 ○行う ○行わない
	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス（ 燃料小出槽 主燃料槽
監視方式	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視
	○太陽光発電装置	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下（長辺 m×短辺 m） 系統連系 ○受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 ○有 無 交流出力電圧 ○100V ○200V 出力電気方式 ○三相3線式 ○単相3線式 ○単相2線式 ○外部移報 ○有 ○無
通信網設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
構内交換設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○保安器用接地	○本工事 ○別途工事
	○形式	○電子交換機 ○ボタン電話装置
情報表示設備	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○親時計及び付属装置	○CR-P M ○CW-P M ○プログラムタイマ（○カード式 ○キー式 ○）
	○子時計	特記なきものは ○SWA ₃₃ -GPB ₂ ○
映像音響設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
拡声設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○増幅器	用途 ○全館放送用（○一般放送 ○非常放送） ○ローカル放送用 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	○スピーカ	特記なきものは ○SCHi-1V ₃ -M ○
誘導支援設備	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付
	○工事内容	○音声誘導装置 検出方式（○磁気式 ○無線式 ○画像認識） ○インターホン ○電話式 ○相互式 ○テレビインターホン ○親機に子機カメラ角度調整機能（上下）を設ける。 ○ ●トイレ等呼出し装置 ○1窓 ○3窓 ○5窓 ○ 呼出しボタン ●壁付ボタン（プルスイッチの長さは0.2m程度とする） ●壁付握りボタン（握りボタンの長さは1.2m程度とする） ○通話機能 ○受付呼出し装置 ○誘導音
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	○アンテナ	○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○AM用 ○FM用 ○CATV
	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 ○配管用ステンレス鋼管 ○一般構造用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ） ○圧力配管用炭素鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
	○電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項 目	特 記 事 項				
監視カメラ設備	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 画像	○ カラー	○ 白黒			
	○ 伝送方式	○ ネットワーク伝送方式		○ デジタル同軸伝送方式	○	
管制設備 駐車場	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 車両検出方式	○ ループコイル方式		○ 光線方式		
防犯・入退室管理設備	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 工事種類	○ 機械警備用配管 ○ 防犯装置 ○ 入退室管理制御装置				
火災報知設備	○ 自動火災報知装置	○ 工事範囲		○ 配管	○ 配線	○ 機器取付
		○ 受信機	○ 形 級 回線 ○ 壁掛形 ○ 自立形 ○ 単独形 ○ 複合形 ○ 耐受信機 窓 ○ 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。			
		○ 光警報装置		○		
		○ 消火ポンプ始動		○ 消火栓箱内押ボタン ○ 発信機と連動（総合盤に始動表示灯を設ける。）		
		○ 機器収容箱		○ 消火栓一体形 ○ 単独形		
		○ 工事範囲		○ 配管	○ 配線	○ 機器取付
		○ 連動制御器		○ 回線 【予備電源（蓄電池）内蔵】 ○ 単独 ○ 自火報受信機と一体		
		○ 自動閉鎖装置		○ 防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 ○ 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構（電動式）DC24V 0.7A以下】 ○ 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】		
		○ 非常警報装置		○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線
			○ 電気方式 DC24V ○ 電源装置 ○ 非常電源（蓄電池） ○ 自動火災報知設備と兼用			
	○ ガス漏れ火災警報装置	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付	
		○ 受信機	○ 単独形 ○ 自火報受信機と一体			
		○ ガスの種類	○ 都市ガス（13A） ○ 液化石油ガス			
	○ 諸警報表示	受信機に諸警報表示窓（窓）を設ける。				
中央監視制御設備	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 監視方式	○ 警報盤		○ 監視制御装置		
医療関係設備	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 非接地電源用分電盤	キャビネット	○ 鋼製	○ ステンレス製		
	○ ナースコール装置	トイレ及び浴室等の呼出押ボタン	○ 有線式	○ 無線式		
	○ その他	○ オプション等の試験は、監督職員の指示による。				
構内配線	○ 工事範囲	○ 高圧	○ 配線	○ 機器取付		
	○ 電気方式	低圧	○ 三相3線式 6kV ○ 三相3線式 200V ○ ○ 単相3線式 100/200V ○ 単2線式（○100V ○200V）			
	○ ふ設方式	○ 地中線	○ 管路式 ○ 波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ ポリエチレン被覆管（PLP） ○ 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装下面）から300mm以上とする。			
		○ 架空線	電柱	○ 遠心力プレストレストコンクリートポール		
	○ 区分開閉器	○ 高圧負荷開閉器 7.2kV 300A	用途 ○ 架空引込用 ○ 地中引込用 構造 ○ 耐中塩じん用 ○ 耐重塩じん用 形式 ○ 引外し装置付き（SOG形） ○ 引外し装置なし ○ 避雷器内蔵 ○ 制御電源用変圧器内蔵			
		○ マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○ 標準図による ○ 図示による。 蓋の文字 ○ 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。			
	○ 高圧ケーブル	屋外に使用する高圧ケーブルはEM・高圧架橋ポリエチレンケーブルは、「JCS 4395「6.0kV 架橋ポリエチレンケーブル（3層押出型）」に（よる ○よらない）				
	○ 余長	高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。				
	○ 端子、高圧ケーブル端処理	○ 一般用	○ 耐塩用	○ 重耐塩用		
	○ 避雷器	○ 屋外形	○ 耐塩形			
	○ 装柱材	○ 一般用	○ 耐塩形			
	○ 外灯	基礎 ○ 本工事 ○ 別途工事 ○ 外灯ボールの材質が鋼製（SPC）の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。				
	構内通信線路	○ 工事範囲	○ 配管	○ 配線	○ 機器取付	
○ ふ設方式		○ 地中線	○ 管路式 ○ 波付硬質合成樹脂管（FEP） ○ ポリエチレン被覆管（PLP） ○ 埋設深さ 特記なきものはGL（舗装がある場合は、舗装（表層）下面）から300mm以上とする。			
		○ 架空線	電柱	○ 遠心力プレストレストコンクリートポール		
	○ マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ○ 標準図による ○ 図示による。 蓋の文字 ○ 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。				

章	項 目	特 記 事 項
調 査 電 波 障 害	○調査範囲	○測定のみ ○対策工事実施設計書作成まで ○工事前 ○工事中 ○完成後 箇所 受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。
	○測定時期	
	○測定箇所	
	○測定内容	

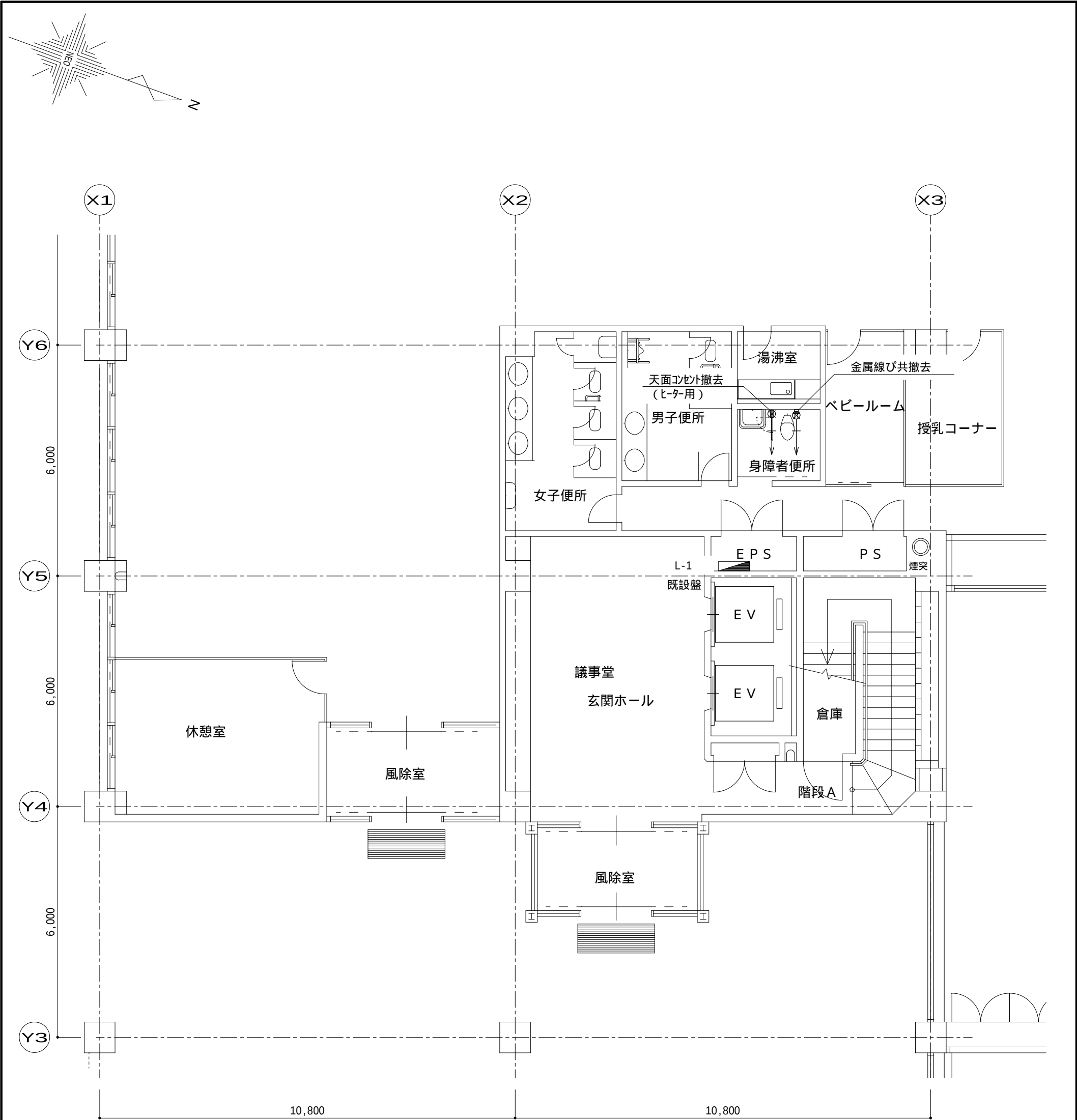
別表	付属品・予備品
○ イーザーキャビネット ○ キーボックス ○ テスター ○ マンホールフック	
○ 工具箱（ドライバー、モンキーレンチ、組立バナー、ハンマー）	
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。

試験・検査一覧
工事完成に際しては、各種試験，検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
○受変機器・動力盤及び電灯盤・耐圧試験・絶縁抵抗測定・接地抵抗測定・機器機能試験・その他監督職員の指示するもの ●工事中手にし、事前に必要な機器（照明機器、空調機器、放送設備等）の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。 ●工事前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。（照度測定箇所は監督員の指示する箇所とする。） ○着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 ○着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。 ○後施工アンカ - の施工確認試験（引張試験機による引張試験）は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケ - ブラック・ケ - ブラダクト等

その他
●試験機器類の校正記録を提出する。 ●停電工事の必要な時は、当該高圧受電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
○工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
●分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針（令和7年度版）の資料11（P 1 1 7 2）に基づき施工する。
●鉄筋コンクリートにダイヤモンドドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
●整備不良の電動工具等持ち込まない。
○構外搬出適切産廃処分とする（電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する）。
○交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
○カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ（参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。）									
		名称	測点	取付高（mm）			名称	測点	取付高（mm）
電力 共通		取引用計器	地上～上端	2,000	電 話		端子盤	床上～上端	1,900
		引込開閉器	〃	1,800			保安器箱	天井下～上端	200
							壁付位置ボックス	床上～中心	300
動 力		壁掛型制御盤	床上～上端	1,900			〃（和室）	〃	150
		手元開閉器	床上～中心	1,500					
		操作スイッチ	〃	1,300					
							壁掛スピーカー	天井下～上端	200
							アッテネーター	床上～中心	1,300
電 灯		分電盤	床上～上端	1,900	拡声、 時計		壁掛型腕時計	床上～上端	1,900
		スイッチ（一般）	床上～中心	1,300			子時計	天井下～上端	200
		〃（身障者便所）	〃	900					
		コンセント（一般）	〃	300			壁掛インターホン	床上～中心	1,500
		〃（和室）	〃	150			〃（身障者）	〃	1,100
		〃（台上）	台上～中心	300			壁付位置ボックス	〃	300
		〃（土間）	床上～中心	1,300			〃（和室）	〃	150
		ブラケット（一般）	〃	2,100					
		〃（踊場）	〃	2,500			機器収納箱	天井下～上端	200
		〃（鏡上）	鏡上端～中心	150			直列ユニット	床上～中心	300
			〃（和室）	〃	150				

備 考			 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1階バリアフリー化改修工事	図面名称	縮尺	図面 No
					電気設備工事特記仕様書－2	年月日 2026.01	E -02

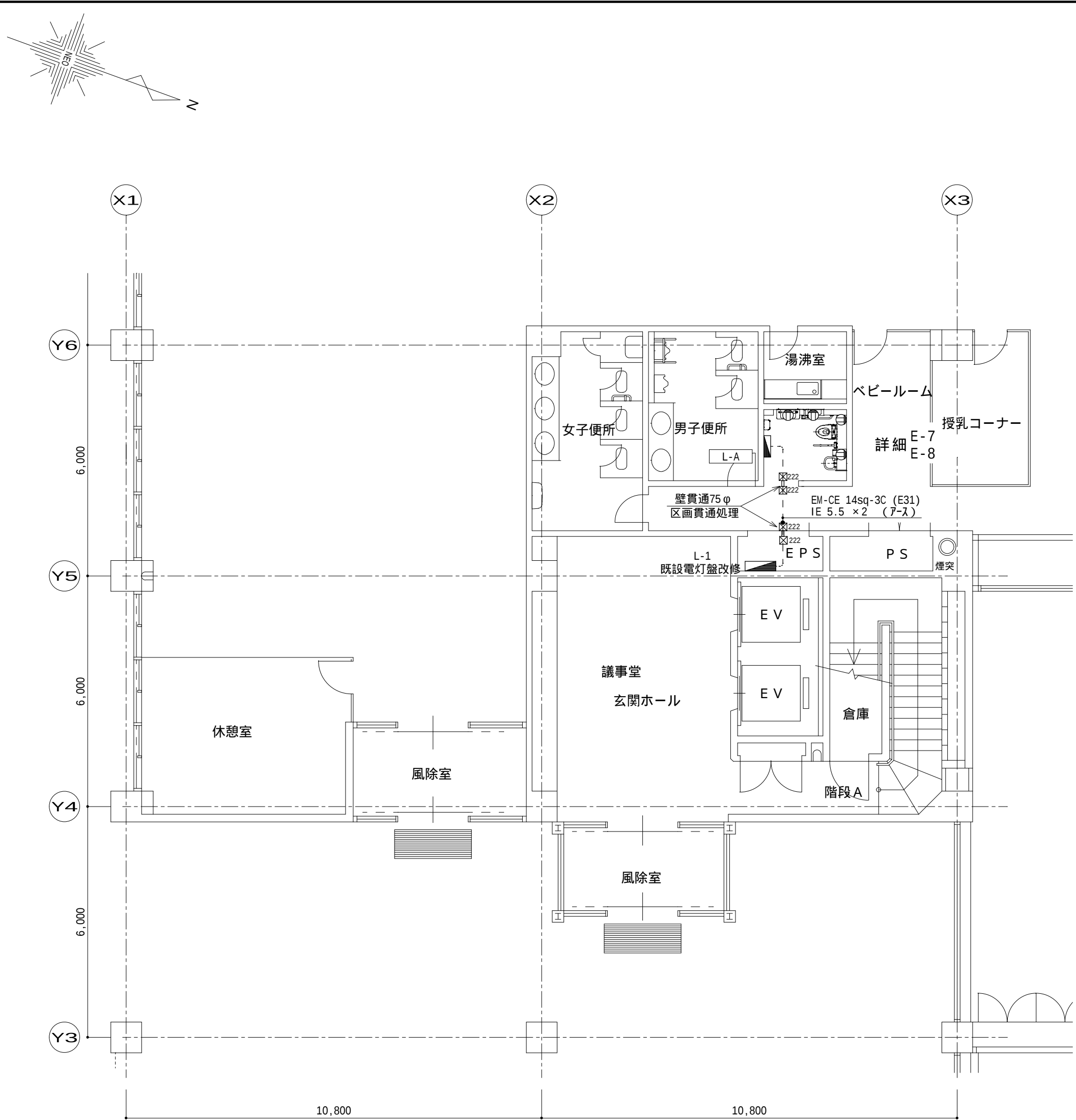


幹線・コンセント設備 現況図

× 撤去箇所を示す

線種	凡例
—	VVF2.0-2C (MMA)
—+—	VVF2.0-3C (MMA)
—H—	VVF2.0-4C (MMA)

機器	凡例
■	分電盤
⓪	コンセント



幹線・差込設備 改修図

線種	凡例
—	埋設・埋込 配管
- - -	露出 配管

機器	凡例
■	分電盤
⓪	コンセント
○	パトライト
⊠222	200×200×200

備考



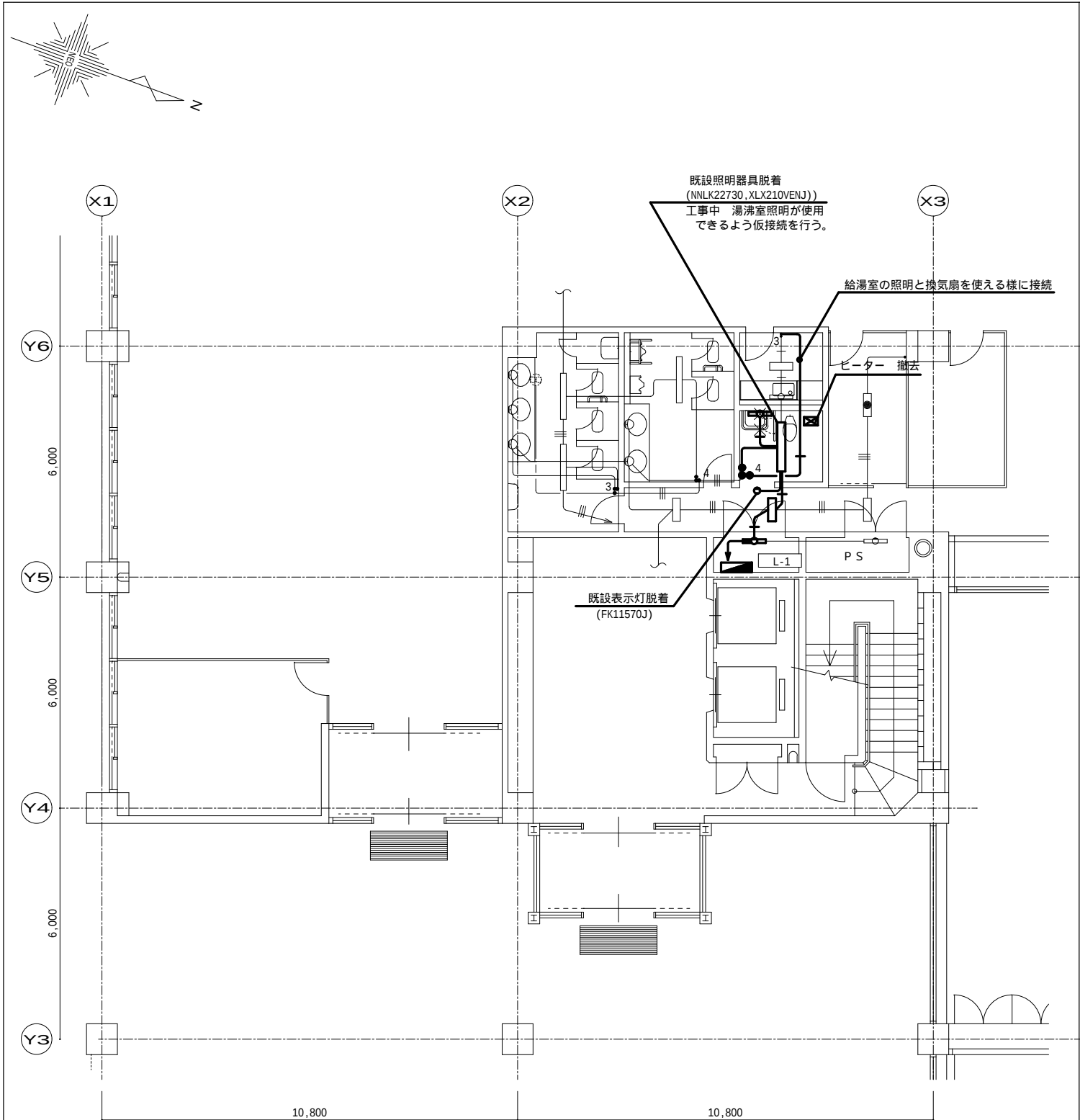
NEO 設計
株式会社 N E O 設計
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称
議会棟 1階バリアフリー化改修工事

図面名称
現況図・改修図
幹線・コンセント設備 平面図

縮尺
1/100
年月日
2026.01

図面 No
E -04

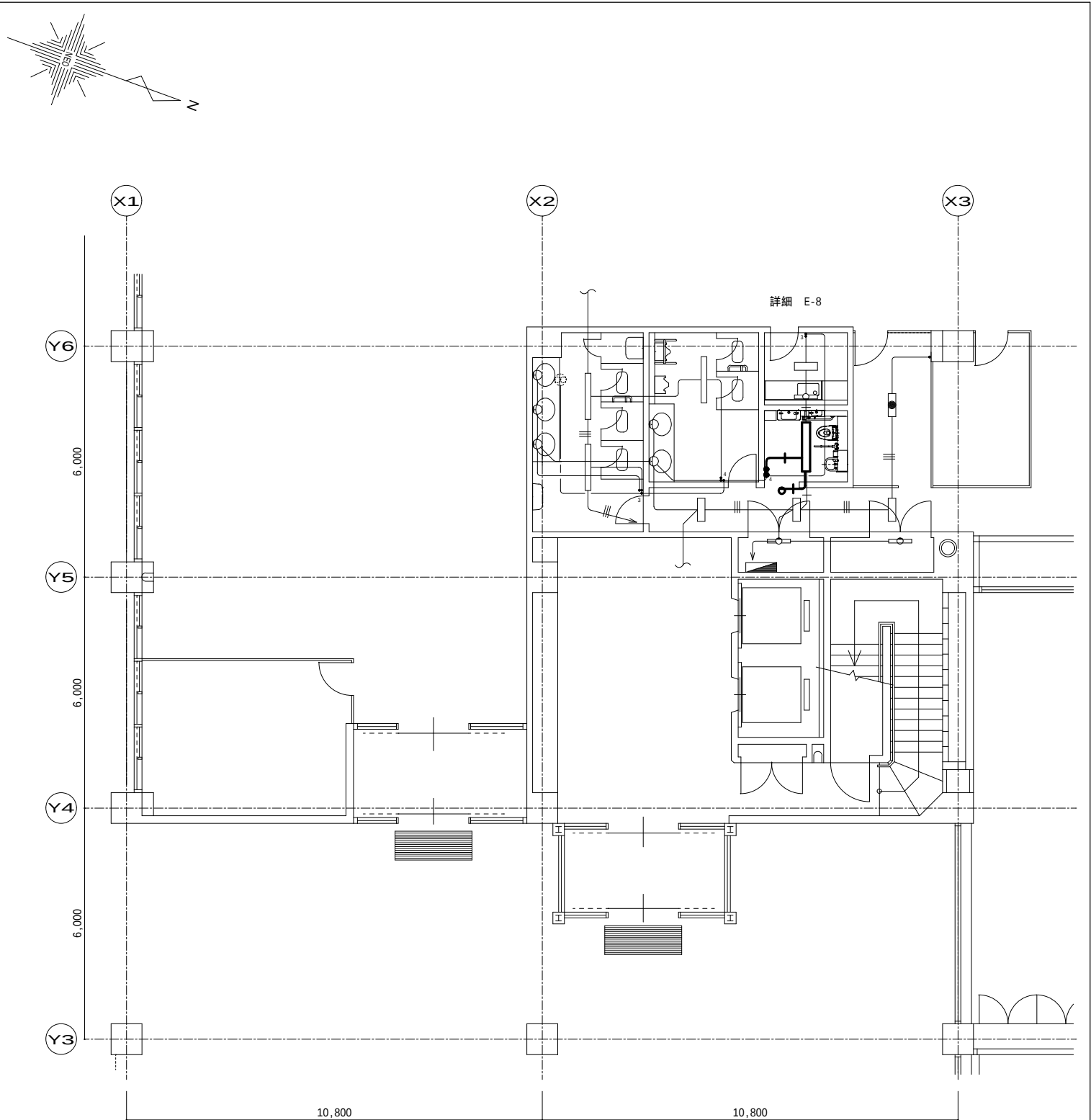


電灯設備 現況図

× 撤去箇所を示す

線種	凡例
	IV 1.6-3C (PF16)
	IV 1.6-4C (PF16)
	IV 1.6-5C (PF16)

機器	凡例
	分電盤
	流し元灯 20W
	照明器具 20W
	照明器具 40W
	表示灯 (使用中)
	スイッチ: 片切・3路回路・4路回路

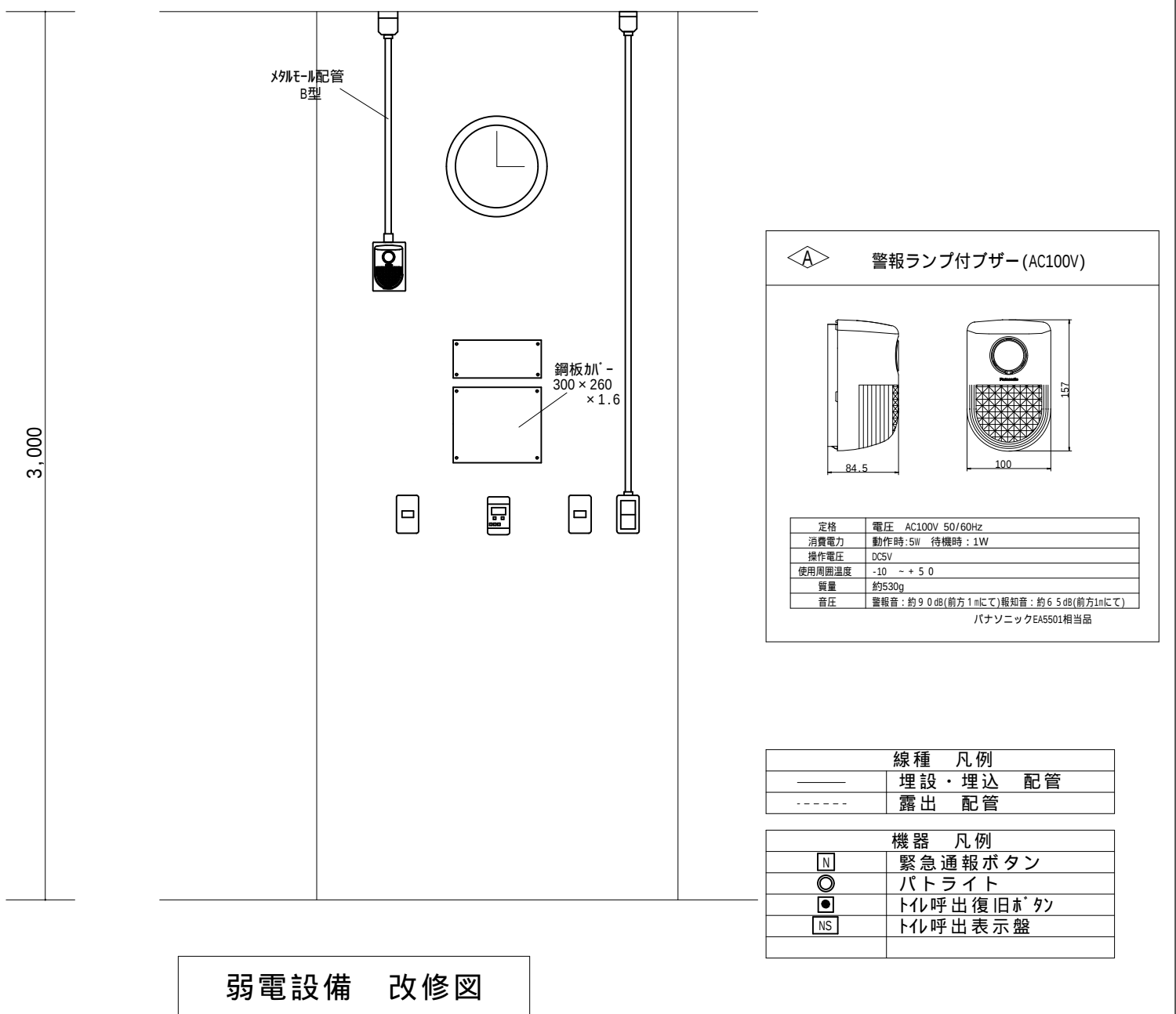
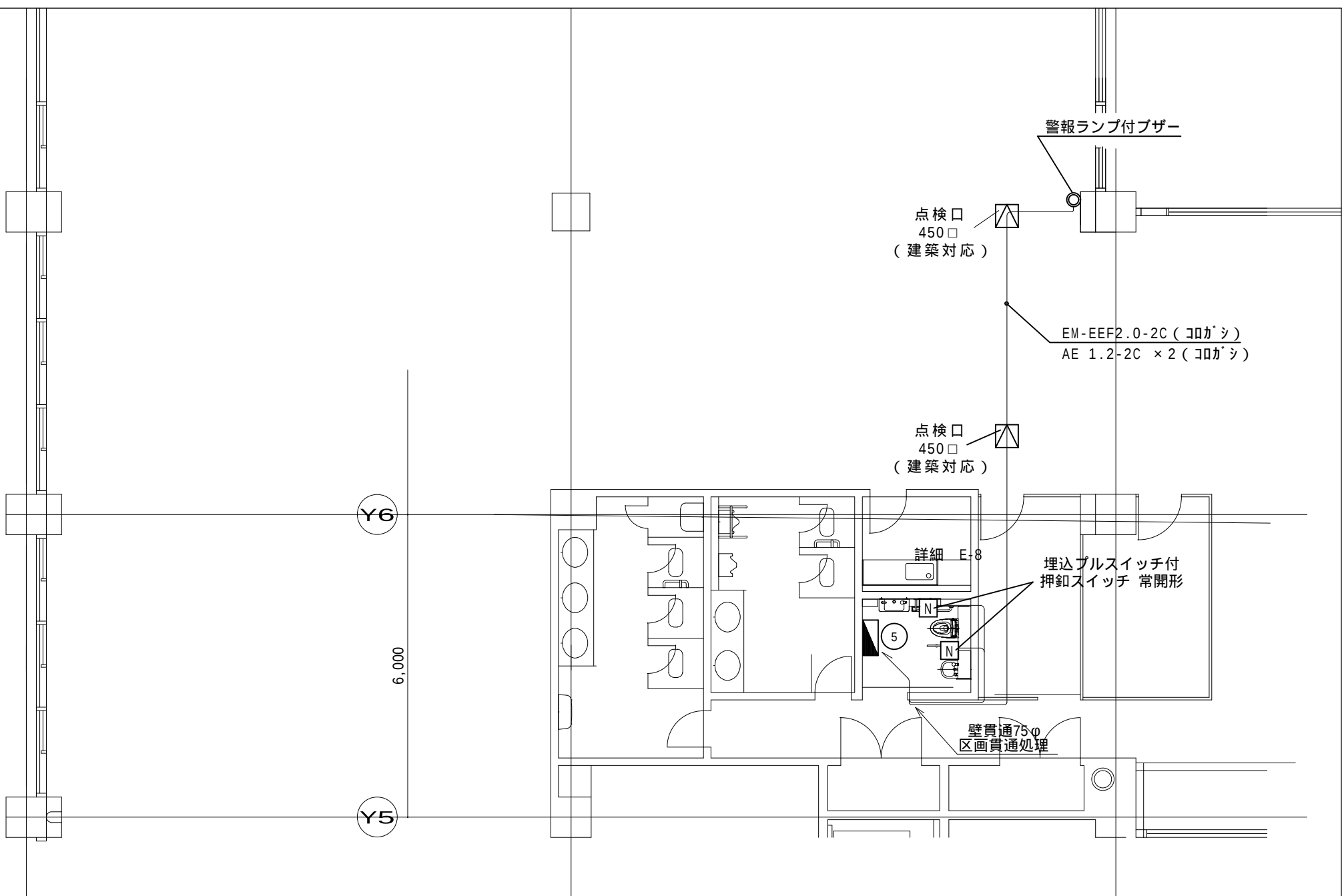


電灯設備 改修図

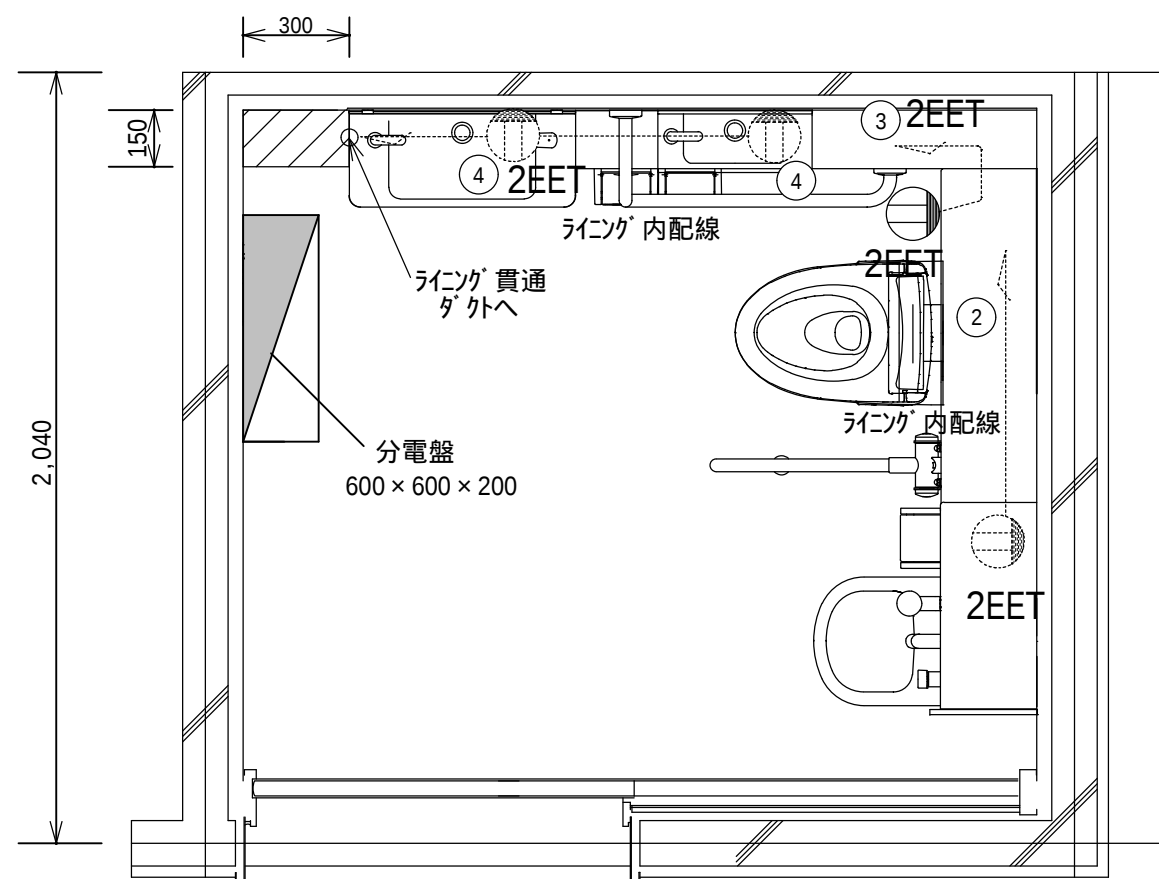
線種	凡例
	埋設・埋込 配管
	露出 配管

線種	凡例
	EM-EEF1.6-3C (PF16)

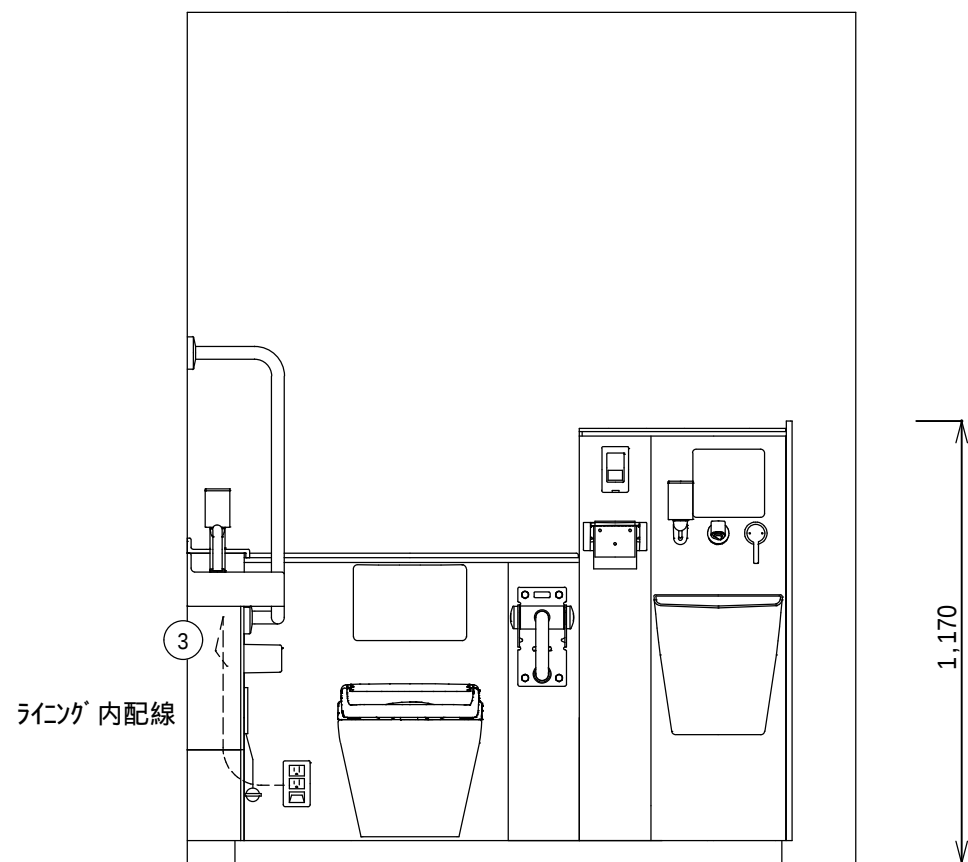
機器	凡例
	分電盤
	流し元灯 20W
	照明器具 20W
	照明器具 40W
	表示灯 (使用中)
	スイッチ: 片切・3路回路・4路回路



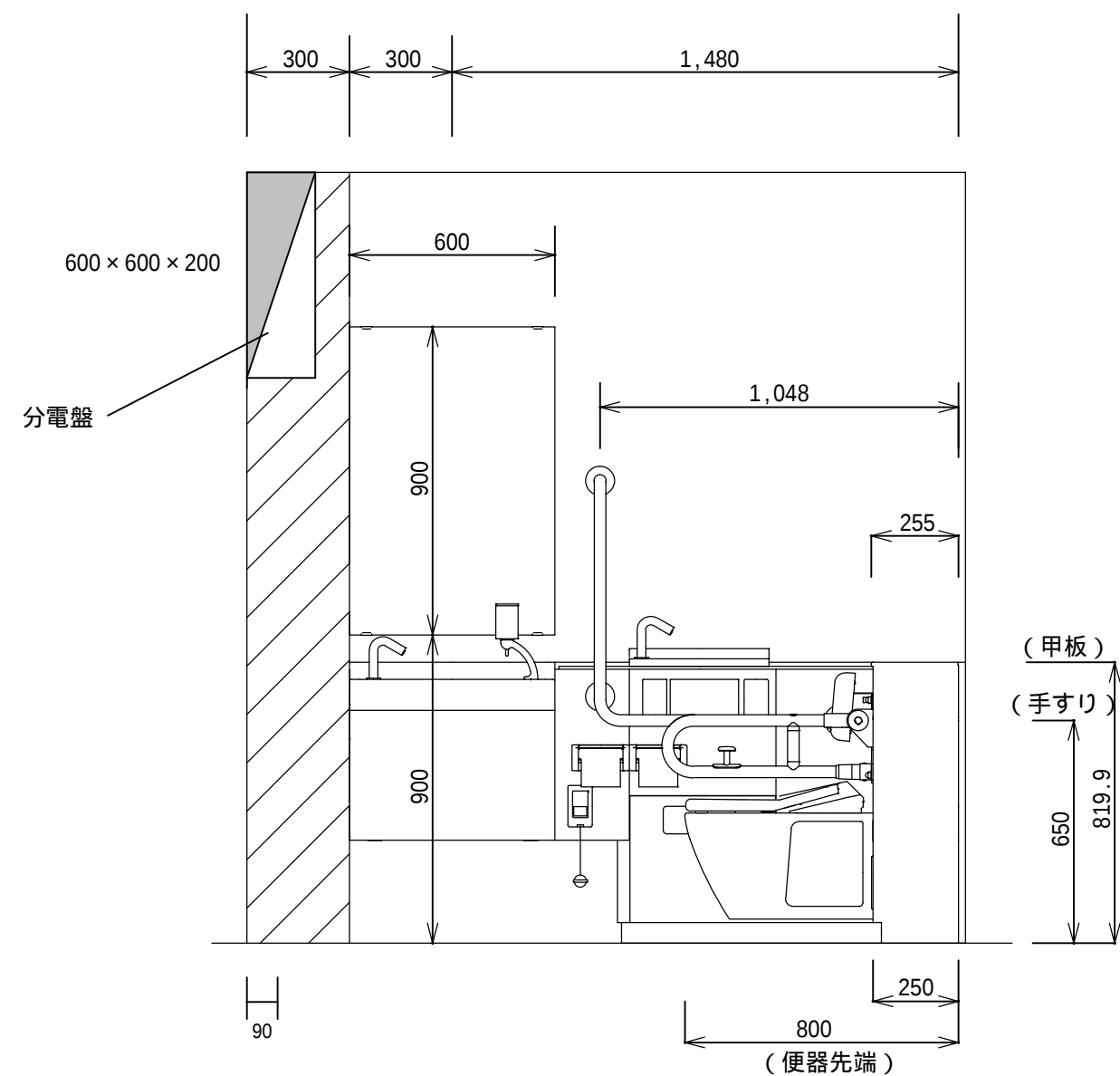
備 考			NEO 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1階バリアフリー化改修工事	図面名称	現況図・改修図	縮尺	1/100	図面 No E -06
					非常用設備 改修図	年月日	2026.01		



平面図 S=1/20



立面図 S=1/20

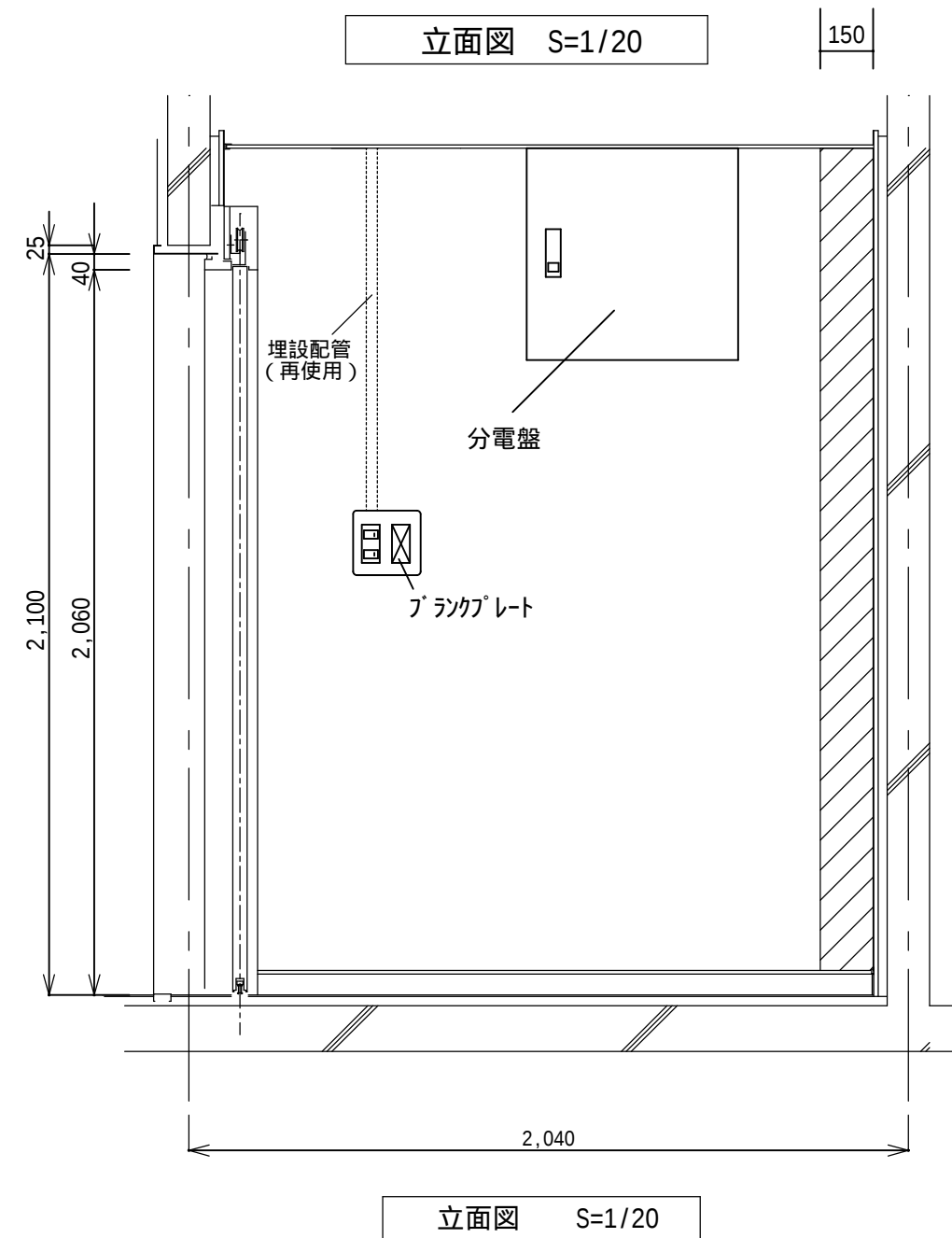


立面図 S=1/20

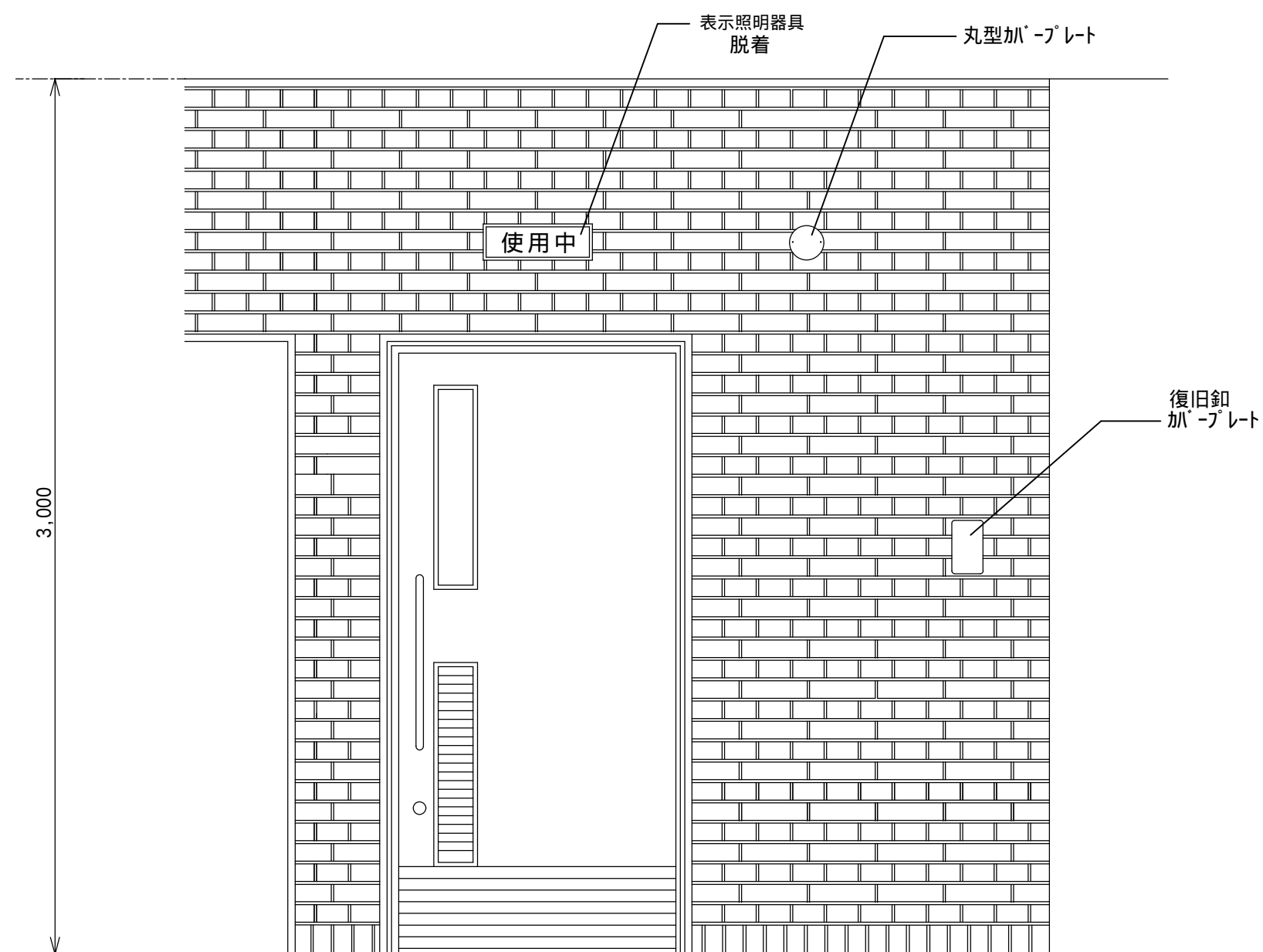
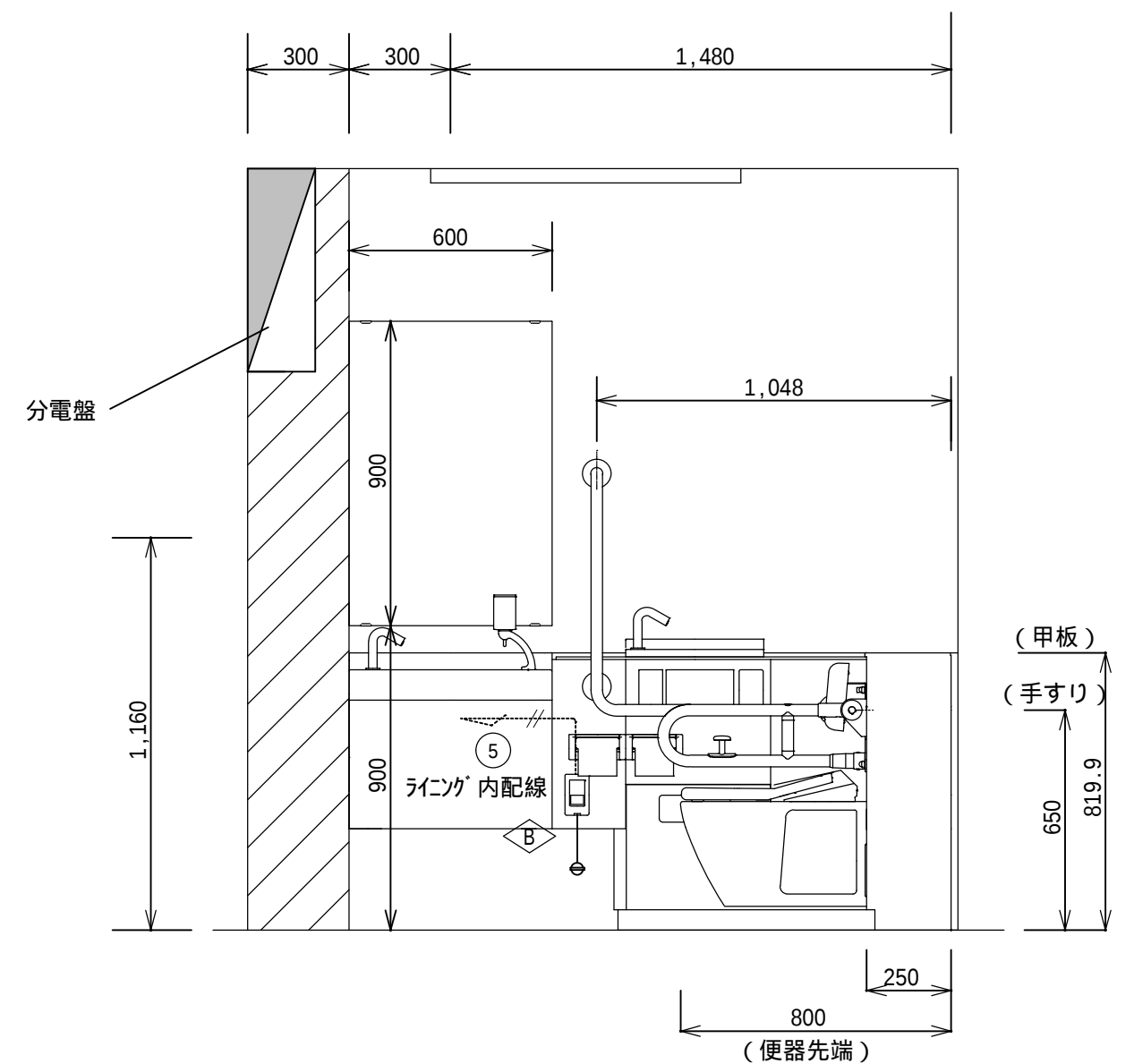
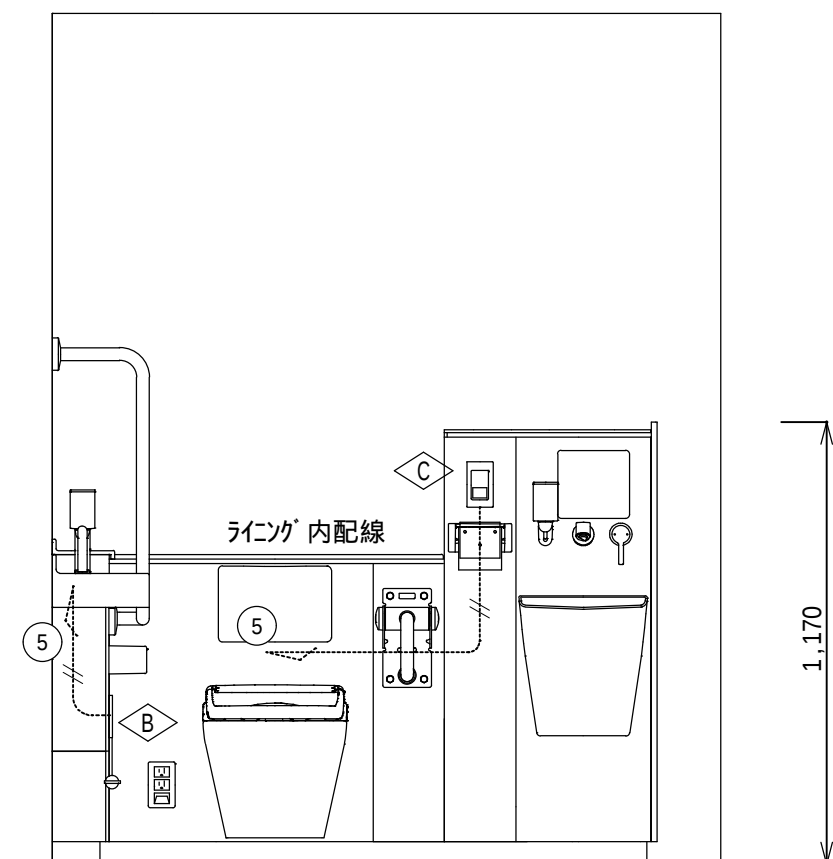
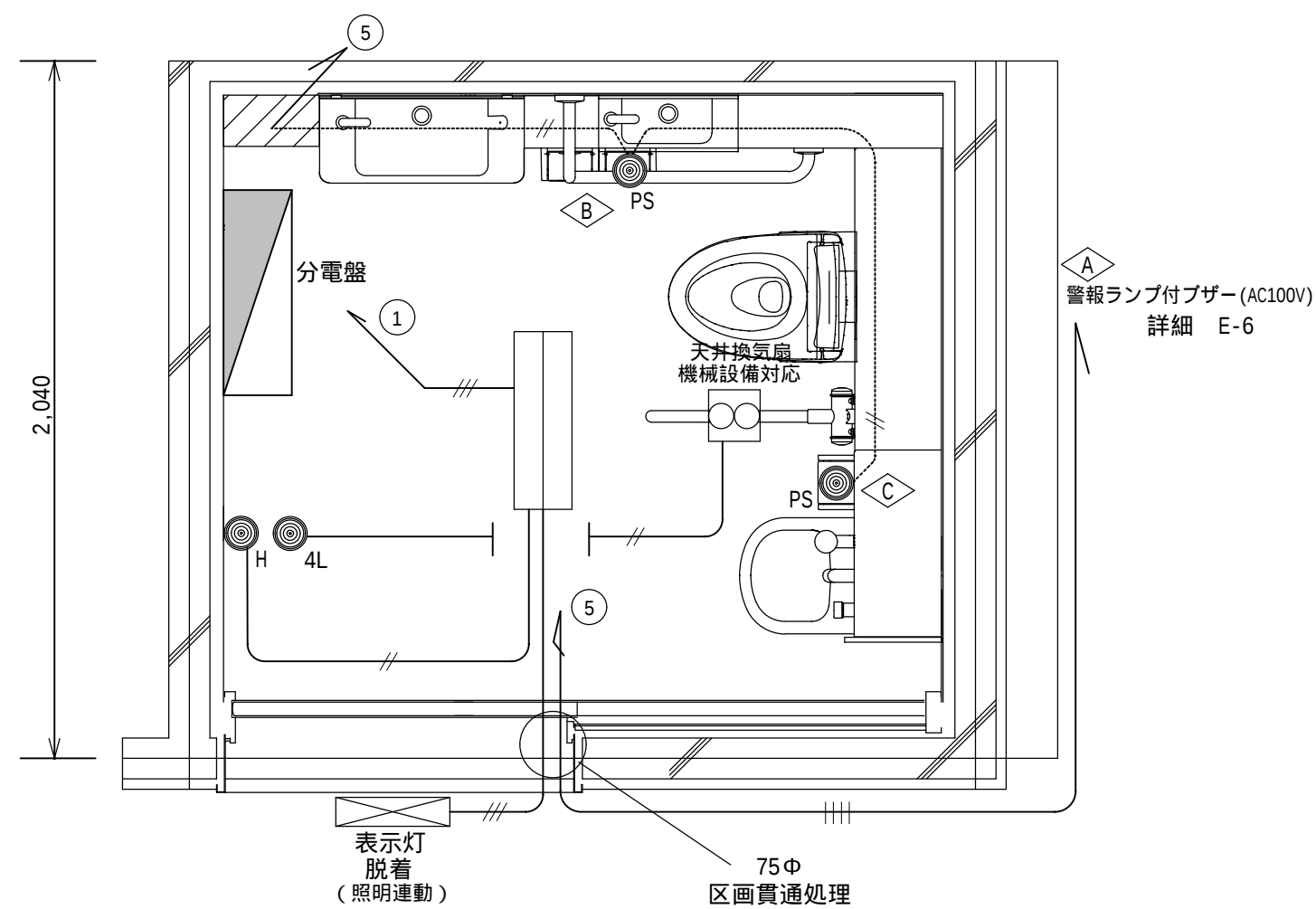
凡例図	
	2口 コンセント 接地極接地端子付き
	分電盤

凡例図	
	ライニング 配線

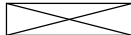
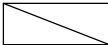
凡例図	
	EM - EEF 2.0-3C (PF22)



立面図 S=1/20



A 警報ランプ付ブザー (AC100V) <table border="1" data-bbox="1332 1320 1623 1396"> <tr> <td>定格</td><td>電圧 AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr> <td>消費電力</td><td>動作時: 5W 待機時: 1W</td></tr> <tr> <td>動作電圧</td><td>DC5V</td></tr> <tr> <td>使用周囲温度</td><td>-30 ~ +50</td></tr> <tr> <td>質量</td><td>約530g</td></tr> <tr> <td>音圧</td><td>接警音: 約9.0dB(前方1mにて)報知音: 約6.5dB(前方1mにて)</td></tr> </table> パナソニックEAS501相当品	定格	電圧 AC100V 50/60Hz	消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W	動作電圧	DC5V	使用周囲温度	-30 ~ +50	質量	約530g	音圧	接警音: 約9.0dB(前方1mにて)報知音: 約6.5dB(前方1mにて)	C 埋込プルスイッチ付押錠スイッチ 常閉形 引き紐 取外し使用 <table border="1" data-bbox="1718 1690 1929 1711"> <tr> <td>定 格</td><td>30V 0.1A</td></tr> </table> パナソニック956571相当品	定 格	30V 0.1A
定格	電圧 AC100V 50/60Hz														
消費電力	動作時: 5W 待機時: 1W														
動作電圧	DC5V														
使用周囲温度	-30 ~ +50														
質量	約530g														
音圧	接警音: 約9.0dB(前方1mにて)報知音: 約6.5dB(前方1mにて)														
定 格	30V 0.1A														
B 埋込プルスイッチ付押錠スイッチ 常開形 <table border="1" data-bbox="1386 1690 1599 1711"> <tr> <td>定 格</td><td>30V 0.1A</td></tr> </table> パナソニック956571相当品	定 格	30V 0.1A	C 埋込プルスイッチ付押錠スイッチ 常閉形 引き紐 取外し使用 <table border="1" data-bbox="1718 1690 1929 1711"> <tr> <td>定 格</td><td>30V 0.1A</td></tr> </table> パナソニック956571相当品	定 格	30V 0.1A										
定 格	30V 0.1A														
定 格	30V 0.1A														

凡例図	
	照明器具 20W
	表示灯
	天井換気扇 GV150X150
	分電盤
 4L	4 路スイッチ 確認表示
 H	スイッチ 位置表示
 PS	プルスイッチ (非常用)

凡 例 図	
.....	埋込配線（ライング内）
————	コロガシ（天井・壁内）

凡例圖	
——//——	EM-EEF2.0-2C
——///——	EM-EEF2.0-3C
—— ——	EM-EEF2.0-2C EM-AE 1.2-2C

備 考			 一級建築士事務所 株式会社 NEO設計 一級建築士登録 第187781号 中村則正	工事名称 議会棟 1 階バリアフリー改修工事	図面名称	改修図 - 2	縮尺	1/20	図面 No E - 08
						照明器具配線図	年月日	2026.01	

機械設備工事特記仕様書 ー 2

章	項 目	特 記 事 項														
空 気 調 和 設 備	○銅板製煙道 (ボイラー)	厚さ ○3 . 2 mm ○4 . 5 mm ○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○掃除口														
	○ばい煙濃度計 (ボイラー)	送風機付き ○送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)														
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)														
	○保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠ぺい部 ○不要 ○必要 露 出 部 ○保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ビニル化粧テープ巻き ・屋外 ○ステンレス鋼板 保温化粧ケース (○樹脂製 ○アルミ合金製 ○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛めっき鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1 / 2 重ね1 回巻きとする。														
換 気 設 備	●ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ●コーナーボルト工法 (● 共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト ●ダクト、化粧ガラリ取替														
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式														
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。														
		<table><tr><th colspan="2">ダ ク ト の 長 辺</th><th>板 厚</th></tr><tr><td>4 5 0 mm以下</td><td></td><td>0 . 6 mm</td></tr><tr><td>4 5 0 mmを超え1 2 0 0 mm以下</td><td></td><td>0 . 8 mm</td></tr><tr><td>1 2 0 0 mmを超え1 8 0 0 mm以下</td><td></td><td>1 . 0 mm</td></tr><tr><td>1 8 0 0 mmを超えるもの</td><td></td><td>1 . 2 mm</td></tr></table>	ダ ク ト の 長 辺		板 厚	4 5 0 mm以下		0 . 6 mm	4 5 0 mmを超え1 2 0 0 mm以下		0 . 8 mm	1 2 0 0 mmを超え1 8 0 0 mm以下		1 . 0 mm	1 8 0 0 mmを超えるもの	
ダ ク ト の 長 辺		板 厚														
4 5 0 mm以下		0 . 6 mm														
4 5 0 mmを超え1 2 0 0 mm以下		0 . 8 mm														
1 2 0 0 mmを超え1 8 0 0 mm以下		1 . 0 mm														
1 8 0 0 mmを超えるもの		1 . 2 mm														
排 煙 設 備	○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ○本工事 ○別途工事 3) グリスフィルターの予備 ○不要 ○必要														
	○保 温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 ○不要 ○必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) ○不要 ○必要 保温を行う場合の仕様は標準仕様書第2 編第3 章第1 節による。														
	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m ²														
	○ダクトの種類	○高圧1 ダクト ○高圧2 ダクト														
自 動 制 御	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法														
	○ダクトの材料	○鋼板製 (1 . 5 mm以上)														
	○排煙口	1) 形 状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。														
	○保温	床下及び暗渠内の保温 不要 ○必要 (図示) 図面による。														
衛 生 器 具 設 備	○小便器用節水装置	電気供給方式 ○A C電源 ○乾電池 ○自己発電														
	○自動水栓	電気供給方式 ○A C電源 ○乾電池 ○自己発電														
	○手動スイッチ	○無し ○有り														
	○大便器用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式)														
給 水 設 備	○水石けん入れ	○手洗器一体型 ○手洗器分離型 ○														
	●車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 ●センサー式 ○タッチスイッチ式 ○レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。 ●オストメイト														
	●給水方式	○水道直結方式 ●高置タンク方式 ○水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ○ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)														
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ●水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (S G P - P A 、 S G P - F P A) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A 、 S G P - F V A) ○ 地中配管 [屋内] ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 ○ 2 種) (接合方法 メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (S G P - P D 、 S G P - F P D) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D 、 S G P - F V D) ○ 地中配管 [屋外] ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径 6 0 S u 以下は拡管式、呼び径 7 5 S u 以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 ○ 2 種) (接合方法 メカニカル ○電気融着) ○水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (S G P - P D 、 S G P - F P D) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D 、 S G P - F V D)														
緊 急 遮 断 弁 装 置	○必要	○ 不要														
	駆動方式	○電気式 ○機械式														
量 水 器	○現地表示式 (直読式)															
	○遠隔表示式 (パルス式)															

章	項 目	特 記 事 項
給 水 設 備	○水栓柱	○合成樹脂製 (7 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) ○ステンレス製 () ○アルミニウム合金製 () ○不凍水栓柱 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約 6 0 0 とする。
	○管の埋設深さ	1) 一般敷地 ○3 0 0 mm ○ 2) 構内車両通路 ○6 0 0 mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
	○埋戻し及び盛土	○良質土 ○再生コンクリート砂 ○山砂
	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
排 水 設 備	○本管引込工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで) ○別途工事
	●排水方式	汚水と雑排水 [屋内] ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] ●分流式 ○合流式 ポンプアップ排水 ●有り (● 雑排水 ● 汚水 ● 雨水 ● 湧水 ● 浄化槽 2 次側) ○無し
	●放流式	汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹・側溝 雨水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ●雨水樹 湧水ポンプアップ排水 ○直放流下水管 ○雨水側溝 ●雨水樹
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	雑排水管 ○水道用亜鉛めっき鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 ○ M D ジョイント) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○硬質ポリ塩化ビニル管 (カラー V P) 外部 ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ●硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)
水 設 備	屋内汚水管	○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ○排水・通気用耐火二層管 (V P)
	通気管	○配管用炭素鋼鋼管 (白) (○ねじ接合 ○ M D ジョイント) ○硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) ○排水・通気用耐火二層管 (V P)
	地中配管 [屋内]	○硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
	地中配管 [屋外]	○硬質ポリ塩化ビニル管 (○ V P ○ V U) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
給 湯 設 備	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A 、 S G P - F V A) (地中配管は S G P - V D 、 S G P - F V D) とし、継手はフランジ接合とする。	
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで) ○別途工事
	○給湯方式	○中央式 ○局部式
消 火 設 備	○配管材料	○水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - H V A) ○一般配管用ステンレス鋼管 ○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○被覆鋼管
	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2 編 3 . 1 . 5 の表 2、3、5 による。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 () ○連結送水管 ○
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (白 S c h 4 0) ○一般配管用ステンレス鋼鋼管 地中配管 [屋内] [屋外] ○排水用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (S G P - V S) ○消火用ポリエチレン管 (P E)
ガ ス 設 備	○保温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼水タンクの保温を 施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) 屋内露出管の保温を 施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる)
	○ガスの種類	○都市ガス (発熱量 ○ 4 5 , 0 0 0 k J / N m 3 ○ k J / N m 3) ○液化石油ガス (○ 5 0 k g 本立 ○ 2 0 k g 本立)
	○ガスメーター	親メーター ○貸与品 ○購入 子メーター ○購入 ○貸与品 計量方式 (○実測式 ○パルス式)
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白) ○ 地中配管 [屋内] [屋外] ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
設 さ 備 く 井	○地中配管の接合方法	○ S G M 工法 ○ネジ工法 ○ P E 管工法
	○ビット内施工法	○溶接工法
	○負担金	○不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
	○本管接続工事	○本工事 (○舗装本復旧まで ○舗装仮復旧まで) ○別途工事
設 置 庫 井	排水井設備	○バーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○回転振動式
	○掘削工法	○掘削工法 深度 () m
	○ケーシング材質	配管用炭素鋼鋼管 (黒) ○配管用ステンレス鋼鋼管
	地中熱交換井設備	○掘削工法 ○回転振動式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマ式 ○ロータリーバーカッション式
設 置 庫 器		図面による。

章	項 目	特 記 事 項
浄 化 槽 設 備	○形式	○ユニット形 ○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理 (図面による) ○合併処理 (図面による)
医 療 ガ ス		図面による。

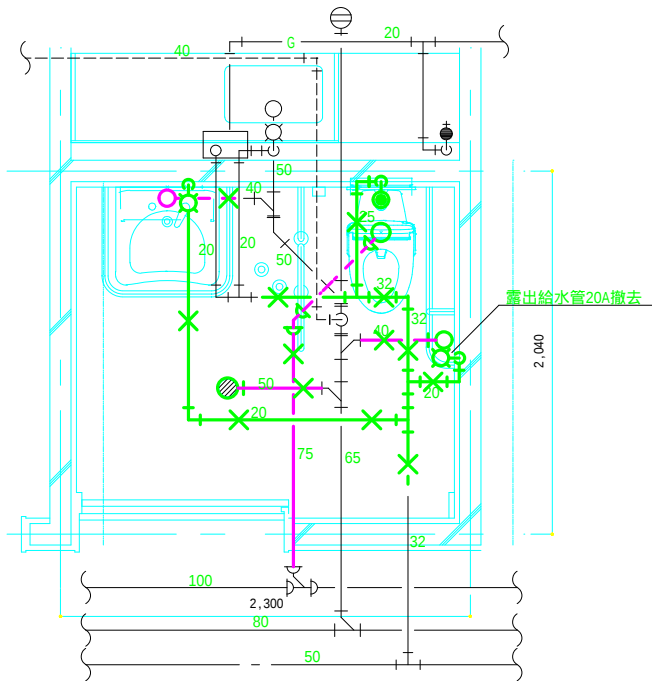
そ の 他	●コア抜き (タイプD 丸穴明け)	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
	●校正記録	試験機器類の校正記録を提出する。
	○交通誘導員	機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。
	○保安器材	カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。
	○鉄板敷き	1、5 2 4 × 6、0 9 6 × 厚 2 2 mm
	○アンカーボルト	

別表 付属品・予備品	
○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパナー、ハンマー) ○マンホールフック ○パイプレンチ ○ポンプブライヤー ○ラバーカップ (大、小) ○イーザーキャビネット 箱 ○キーボックス ○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの1 0 0 %)	

試験・検査	
○水圧試験 ○排水満水試験 ●排水通水試験 ○風量測定 ○吹出口温度測定 ○気密試験 ○点火試験 ●機器類動作試験 ○騒音測定 ○振動測定 ○絶縁試験 ○消防設備試験 ○水質検査 ○水槽水張り試験 ○アンカー引張試験 ○冷媒耐圧試験 ○室内温度測定 ○風速測定	

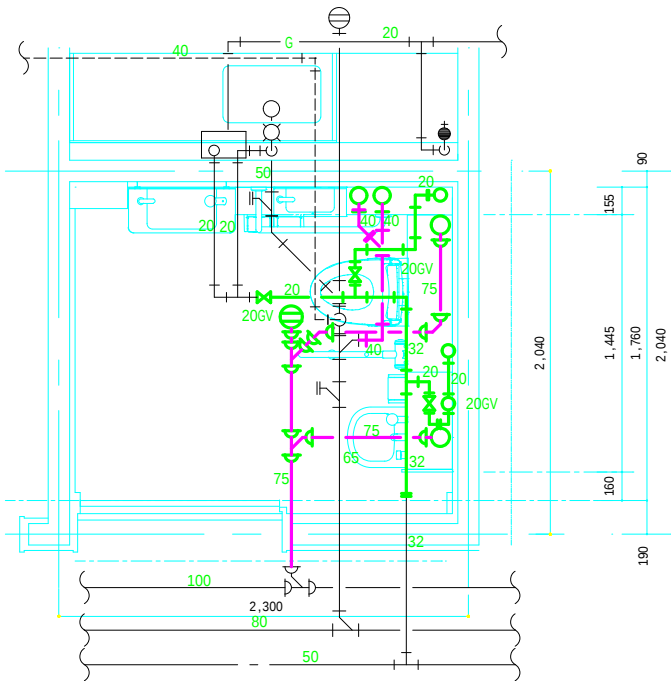
衛生器具表

品 名	品 番	附 属 品	1 階	合計
			多目的便所	
バリアフリートイレバック	UADAK21L1A1ASN1WB	TCF5841AUPR T110D28 YKH22	1	1

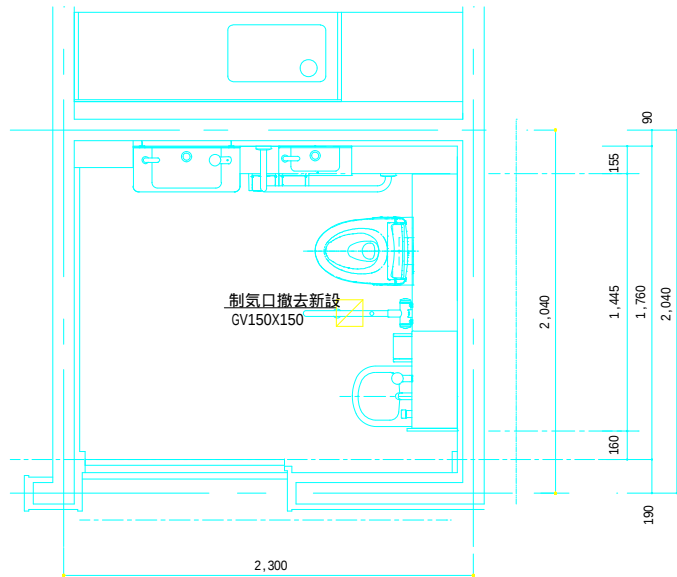


- ✕ 撤去箇所を示す
- Z 止め箇所を示す
- 配管切断箇所を示す

現況平面図 S=1/30



改修平面図 S=1/30



改修平面図 S=1/30

備 考



一級建築士事務所
株式会社 **NEO設計**
一級建築士登録 第187781号 中村則正

工事名称

議会棟 1 階バリアフリー改修工事

図面名称

現況図・改修図

給排水設備図

縮尺

1/30

年月日

2025.12

図面 No

M-03